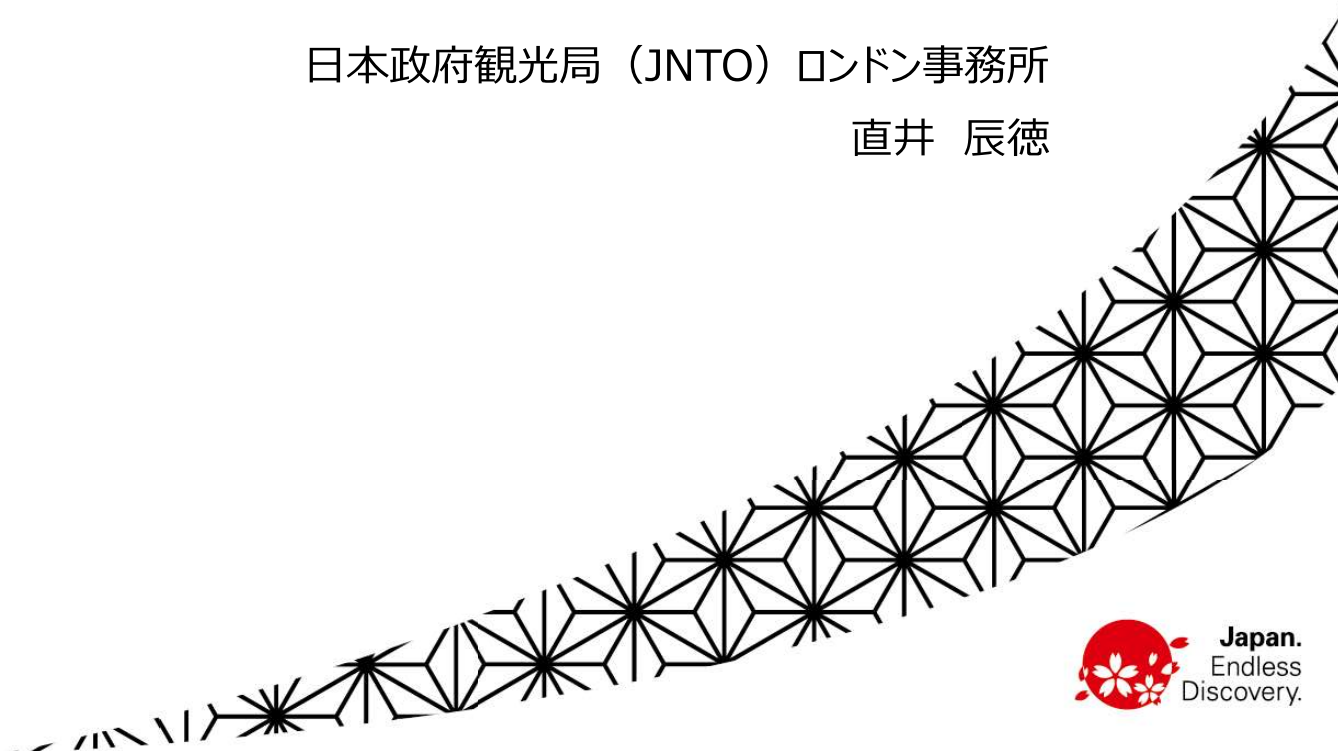




英国からの訪日旅行の現状と展望について

日本政府観光局（JNTO）ロンドン事務所

直井 辰徳



1. JNTO（日本政府観光局）の概要
2. 英国コロナ情勢
3. 英国概況
4. コロナ禍における英国からの海外旅行
5. 英国からの訪日の現状
6. 英国市場におけるロンドン事務所の取り組み

1. JNTO（日本政府観光局）の概要

組織概要

- 正式名称：独立行政法人国際観光振興機構（国土交通省 観光庁所管、理事長：清野智）
※通称として「日本政府観光局」、略称としてJNTO（英文名称：Japan National Tourism Organizationの頭文字）を使用しています。
- 国内拠点：本部（東京）
- 海外拠点：22事務所（ソウル、北京、広州、上海、香港、バンコク、マニラ、シンガポール、ジャカルタ、シドニー、ロンドン、フランクフルト、パリ、ニューヨーク、ロサンゼルス、トロント、モスクワ、クアラルンプール、ハノイ、デリー、ローマ、マドリード）

JNTOの活動

JNTOは世界22都市に海外事務所を持ち、外国人の訪日旅行の促進に向けて、海外現地目線に立ったプロモーション、マーケティングを行っています。

<主な事業>

- 訪日旅行市場に関する市場分析・マーケティング
- 海外現地旅行会社の訪日ツアー企画・販売の促進
- 海外現地メディアを通じた広告・宣伝
- ウェブやSNSを通じた訪日観光の情報提供
- 国際会議（MICE）の誘致・開催促進
- 受入環境整備・向上支援
（ビジット・ジャパン観光案内所の認定）

※政府観光局 (National Tourism Organization) とは：
外国人旅行者の誘致活動を行う政府機関



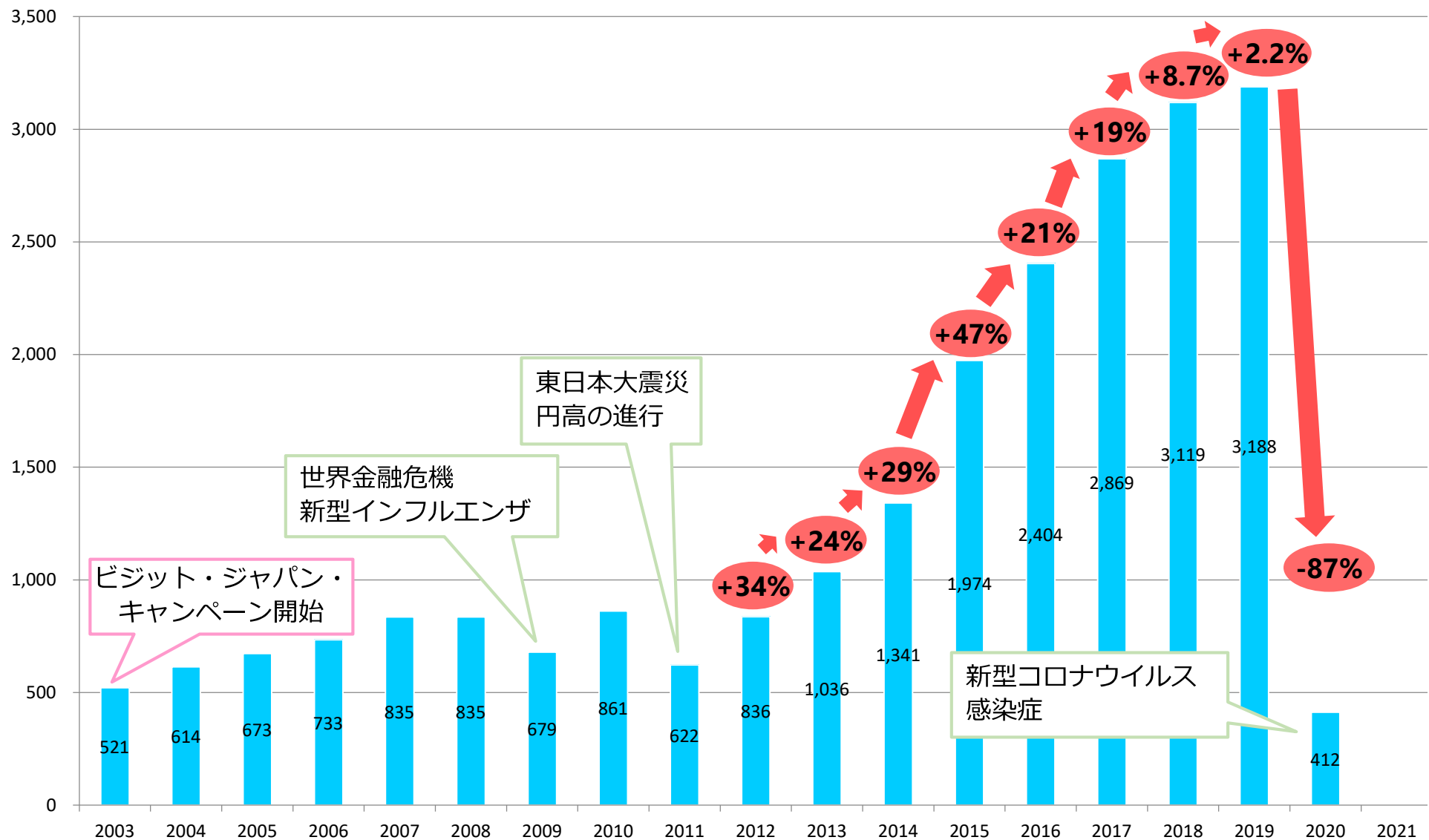
JNTOロンドン事務所

人員：11名

場所：Queensway駅から徒歩2分

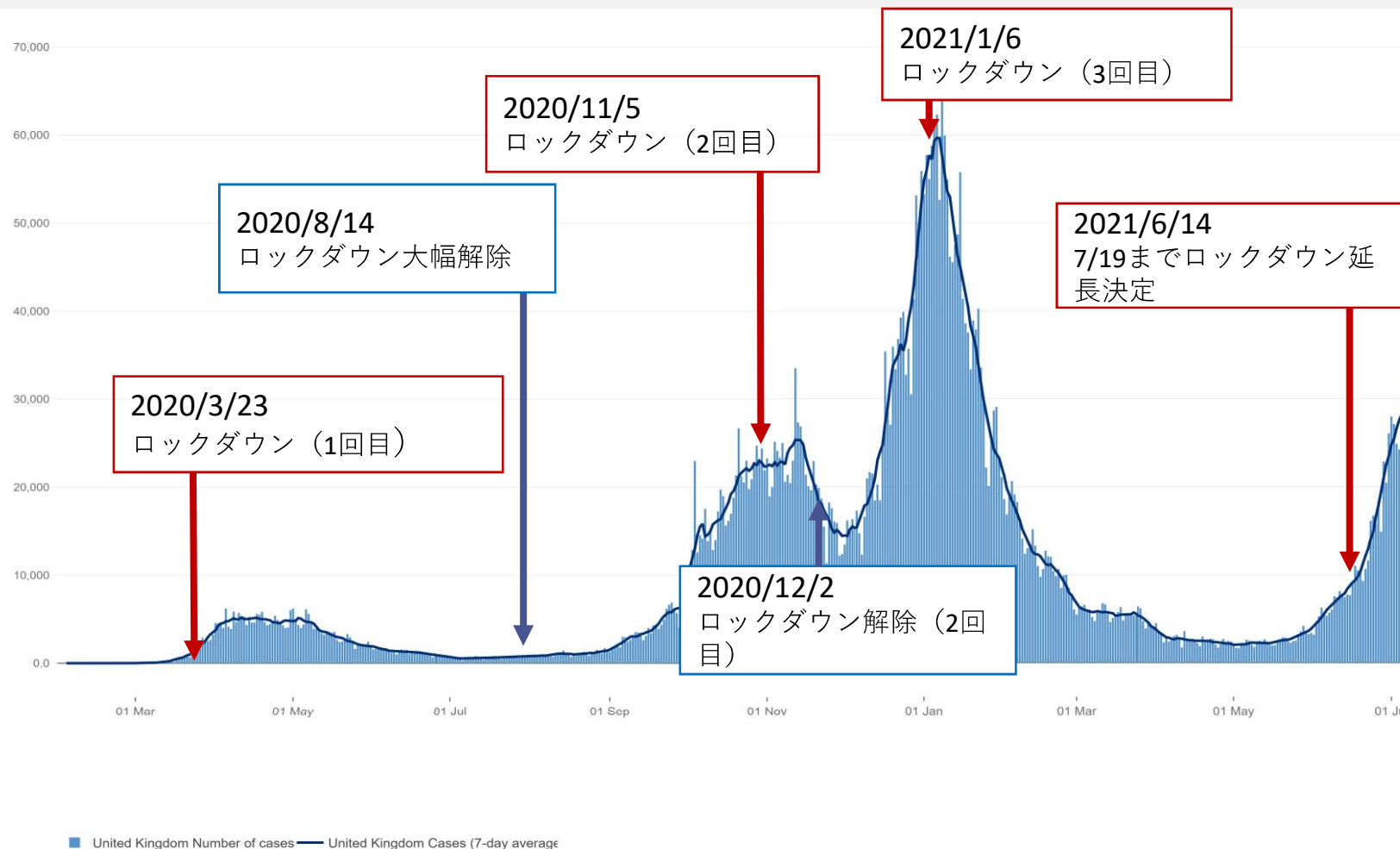
管轄地域：英国、アイルランド、オランダ、スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド、アフリカの英語圏、中近東諸国（ほか）

1. 訪日外客数の推移



2. 英国コロナ情勢：感染者数の推移

- 1年以上にわたる断続的なロックダウン（日用品購入・運動・医療等以外、原則外出禁止）
- 累計感染者500万人超 死者15万超、新規感染約36,000人超／日



2. 英国コロナ情勢：現在の行動規制について

Coronavirus (COVID-19)


Hands


Face


Space

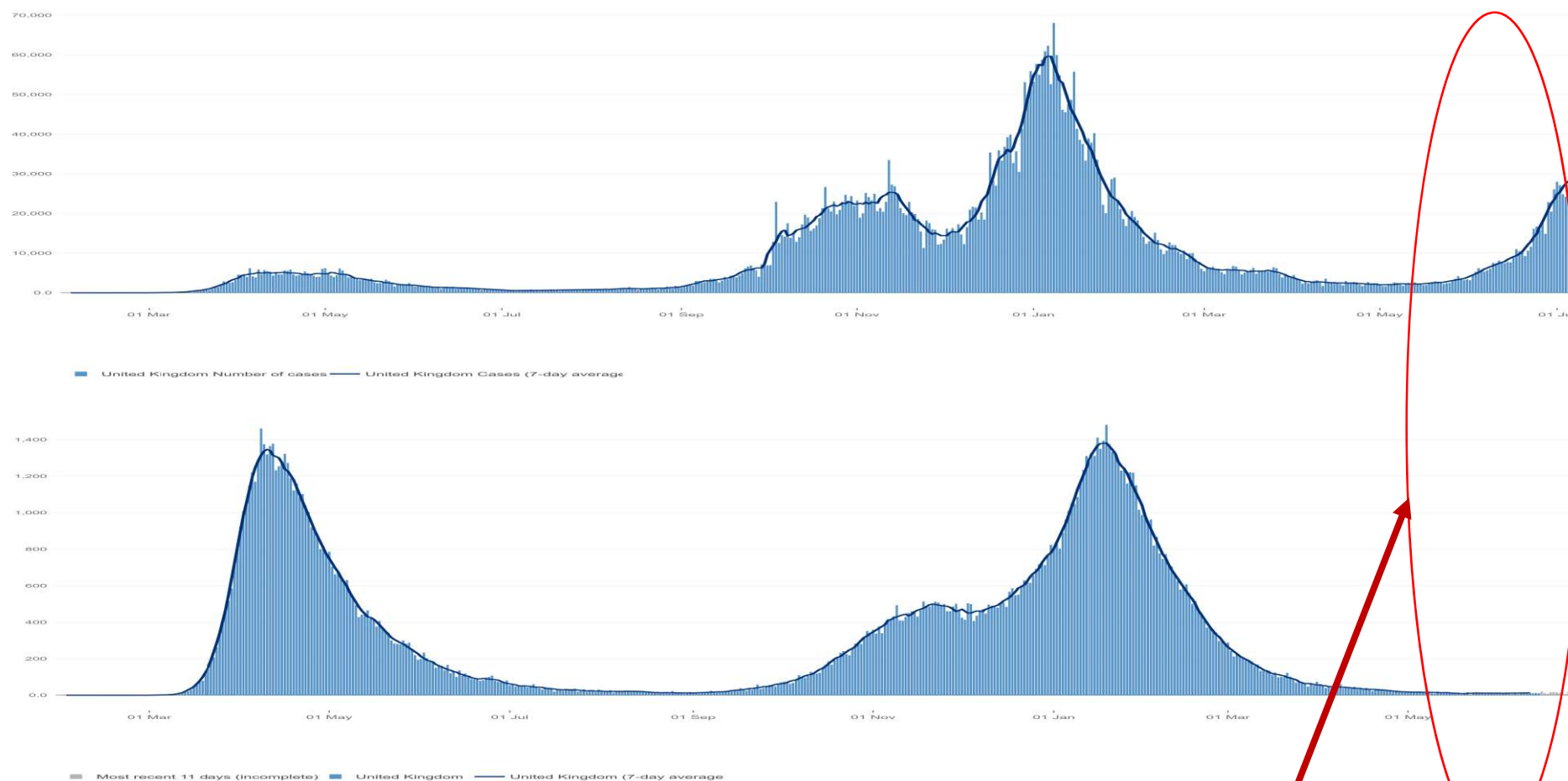

Fresh air

Coronavirus restrictions remain in place across the country, including for people who have been vaccinated. In England:

- You can meet indoors in a group of up to 6 people or a group of any size from 2 households
- You can meet outside in a group of up to 30 people
- Work from home if you can and travel safely
- If you have symptoms get a test and stay at home

※7/14時点の規制情報

2. 英国コロナ情勢：死者数の推移

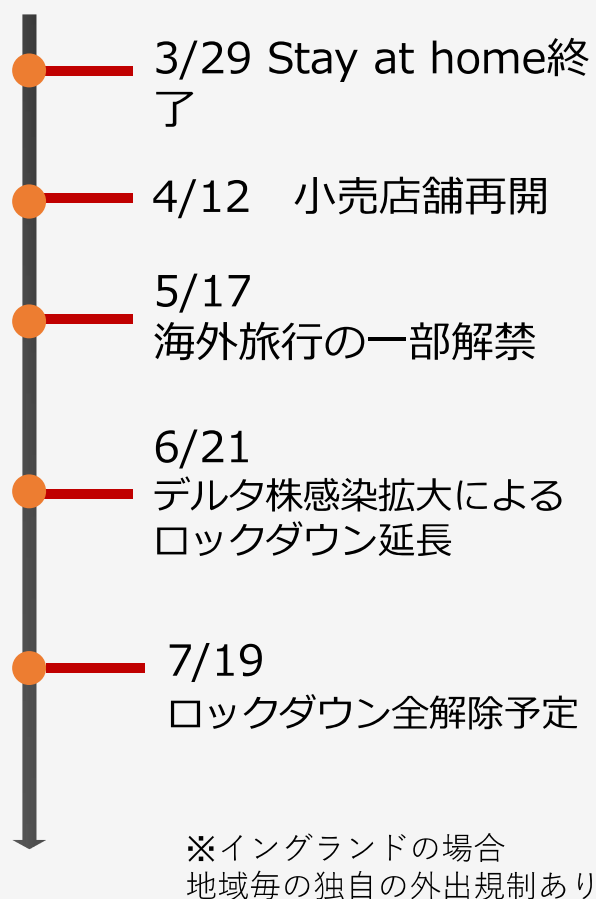


感染者増でも死者数が大きく増えていない

※2021年7月9日現在

2. 英国コロナ情勢：日常生活の再開に向けて

ロックダウン緩和方針



海外旅行再開には

1. 英国からの出国解禁

ワクチンへのアクセス、感染率、変異種の有無等に応じて、渡航先のリスクを3段階（Green、Amber、Red）

2. 目的地側の英国からの入国制限緩和

EU離脱によって、英国が「第3国」扱いに。EEA圏の多くではイギリスからの入国を禁止。

➡ワクチンパスポートに注目。

2. 英国コロナ情勢：海外旅行の解禁

○7月19日以降（※イングランド）

- ・ Amberリスト対象国への渡航規制勧告解除
- ・ ワクチン接種完了者はAmberリスト対象国から帰国後の隔離不用

Green

- ・ オーストラリア
- ・ シンガポール
- ・ ニュージーランド
- ・ アイスランド
- ・ イスラエル
- ・ 他

Amber

- ・ スペイン
- ・ イタリア
- ・ ポルトガル
- ・ USA
- ・ タイ
- ・ 香港
- ・ 日本
- ・ 他

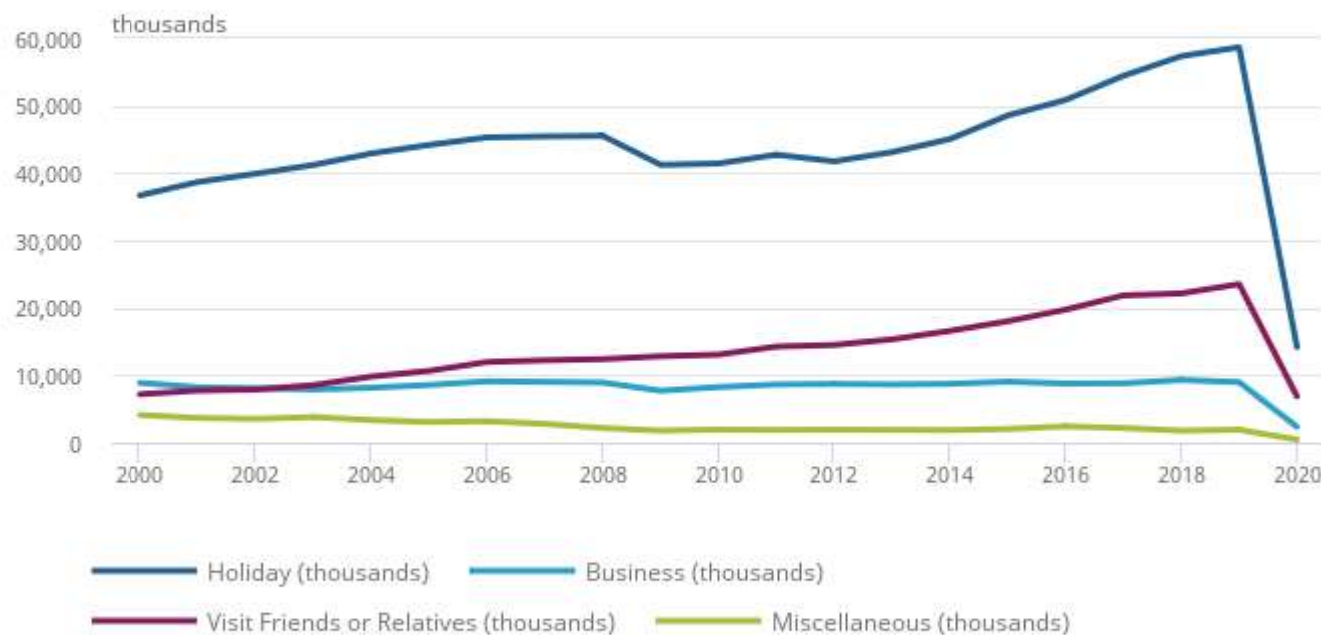
Red

- ・ インド
- ・ ブラジル
- ・ エジプト
- ・ フィリピン
- ・ 南アフリカ
- ・ 他

※2021年7月9日現在

2. 英国コロナ情勢：海外旅行者数の推移

2020年のイギリスからの旅行者数は対前年で76%減



Source: Office for National Statistics – International Travel and Tourism

2. 英国コロナ情勢：旅行会社の状況

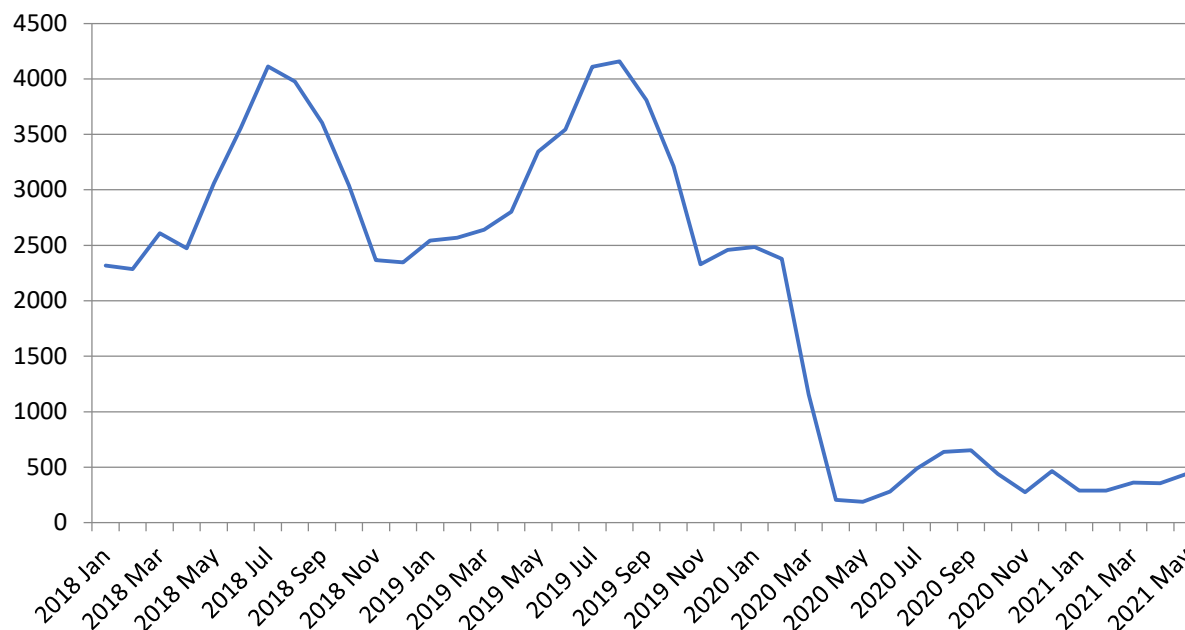
< 英国旅行会等の状況 >

○英国旅行会社等の売上高は2020年3月以降急激に落ち込み、3回のロックダウンの実施等により、多くの月で前年同月比90%以上減。

○コロナウィルスの影響の長期化により、英国統計局ONSによるとレクリエーション業界の約2割が人員解雇、6割がスタッフを一時帰休、多くの旅行会社が、人員解雇やスタッフの一時帰休等により規模を縮小して営業。英国最大の旅行業協会ABTAの会員の約9割が、政府の雇用維持制度を利用(21年9月末まで延長)。

※office for national statisticsデータより作成

英国旅行会社等の売上
高月別推移
(単位：100万£)



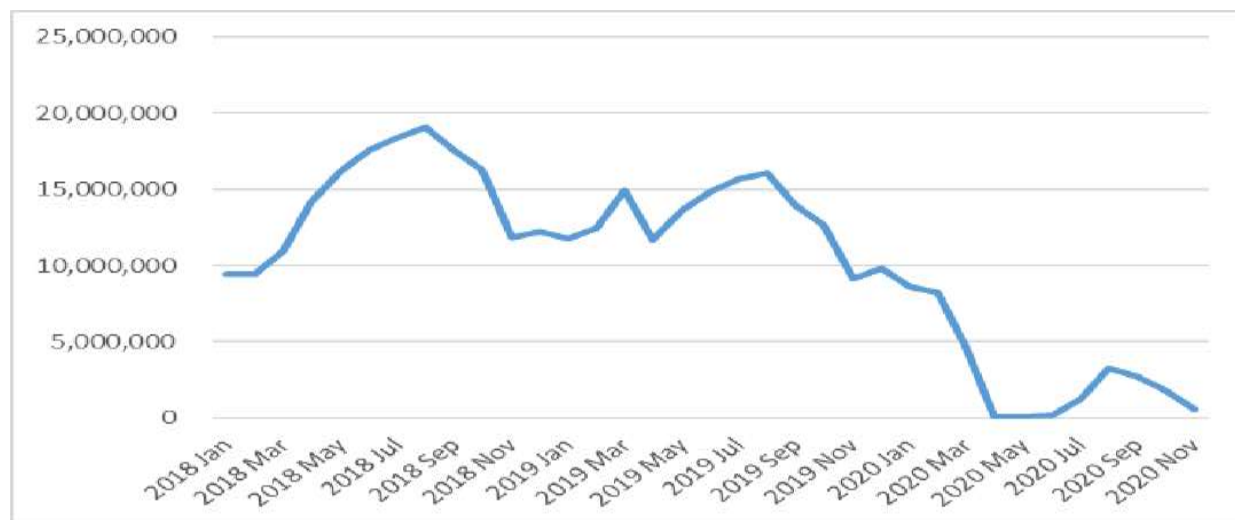
2. 英国コロナ情勢：航空需要の状況

< 英国航空会社の状況 >

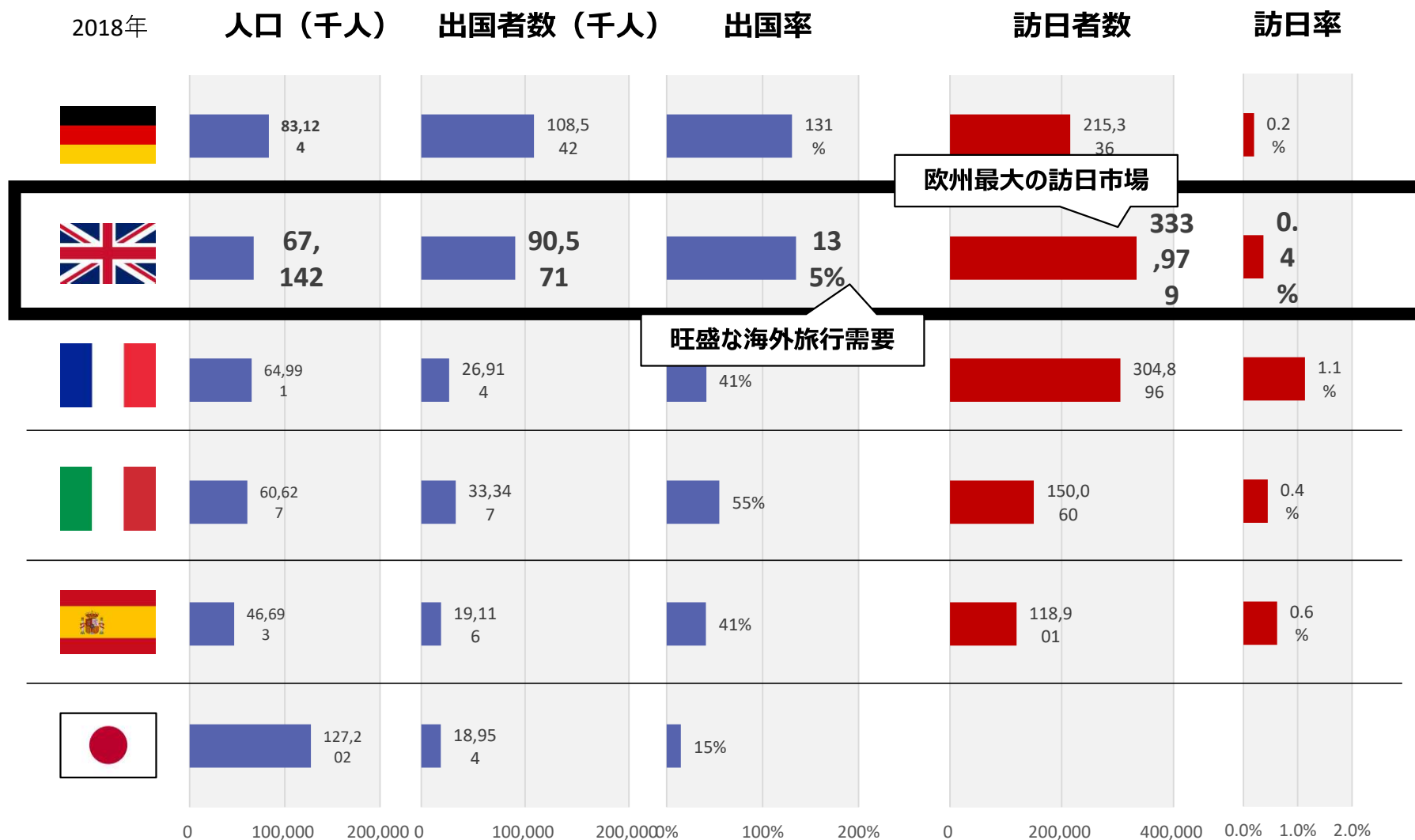
- 英国航空会社の乗客数の推移を見ると、**2020年3月以降**のロックダウンにより航空需要は壊滅的状況となり、**7月～9月**にかけて感染が落ち着き規制が緩和されたことから乗客数が増加したものの、その後の規制強化や再度のロックダウンにより再度急激に減少している。
- British Airways** の親会社である**IAGグループ**の発表によると、夏のレジャー需要があったものの、**2020年9月までの9か月間**の、**British Airways** を含む**IAGグループ**全体の旅客収入は前年同期比**71.4%減**、総収入でも**66.0%減**となっており、かなり厳しい状況が続いている。

英国航空会社の乗客数推移

※Civil Aviation Authorityデータより作成

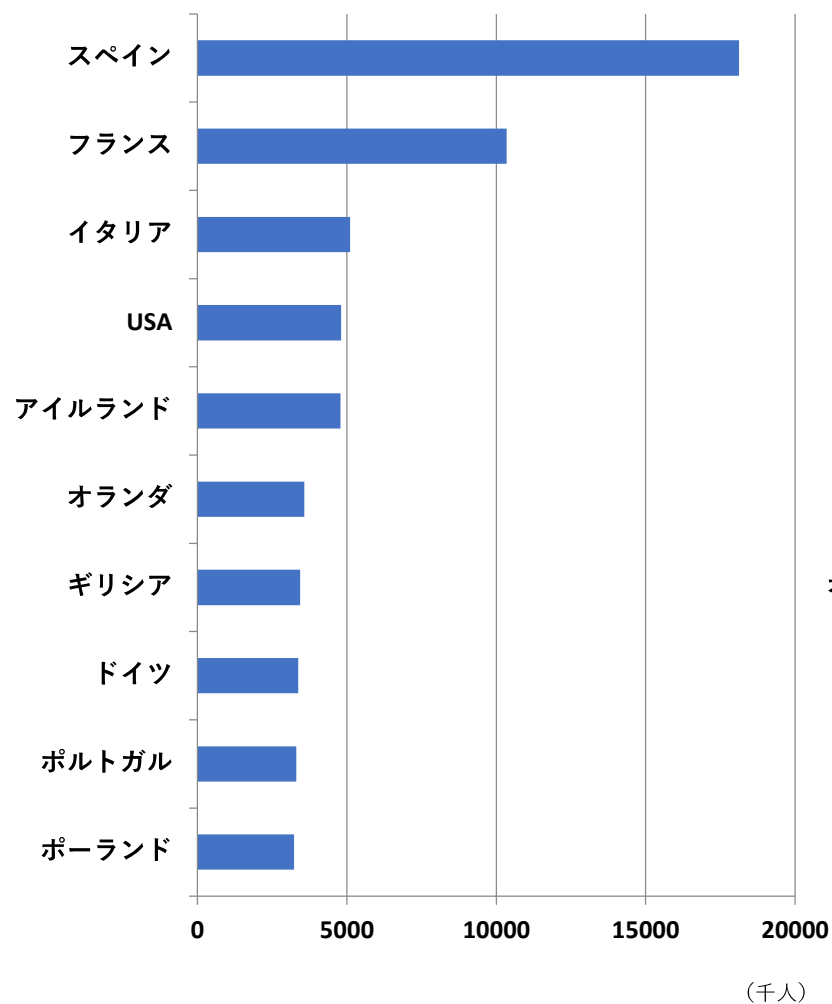


3. 英国概況：旅行市場

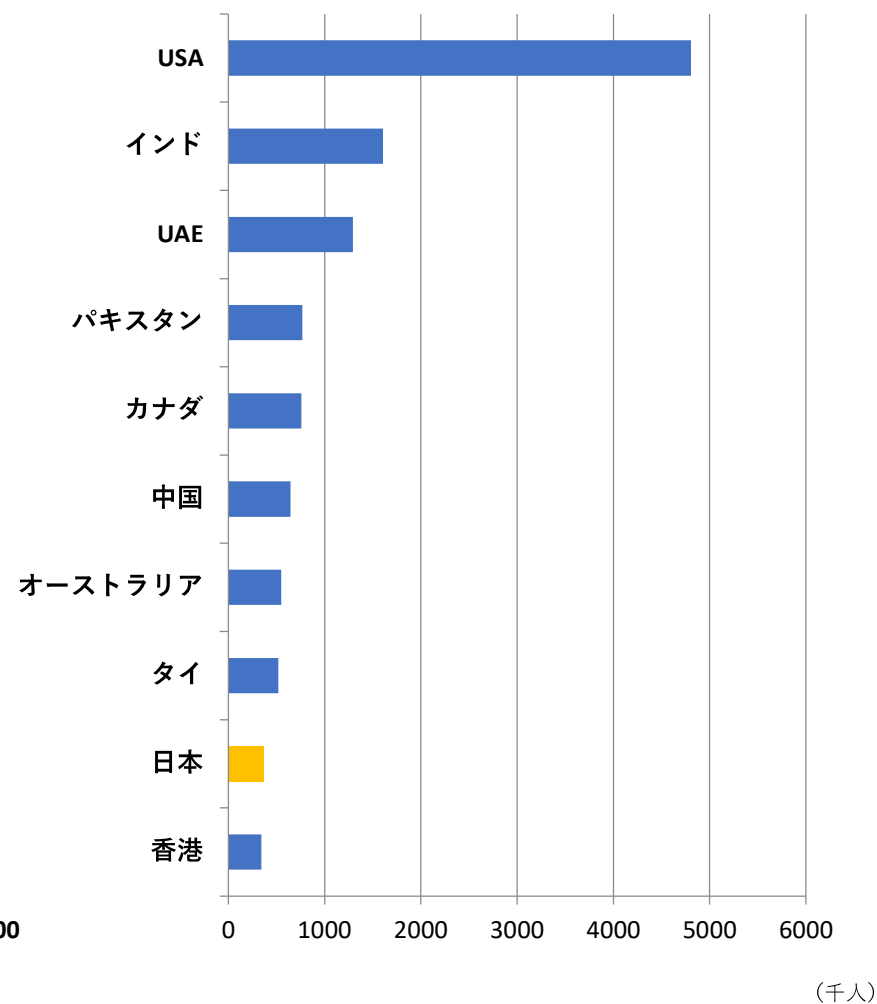


3. 英国概況：英国からの主な海外旅行先（2019）

主要海外旅行先Top10

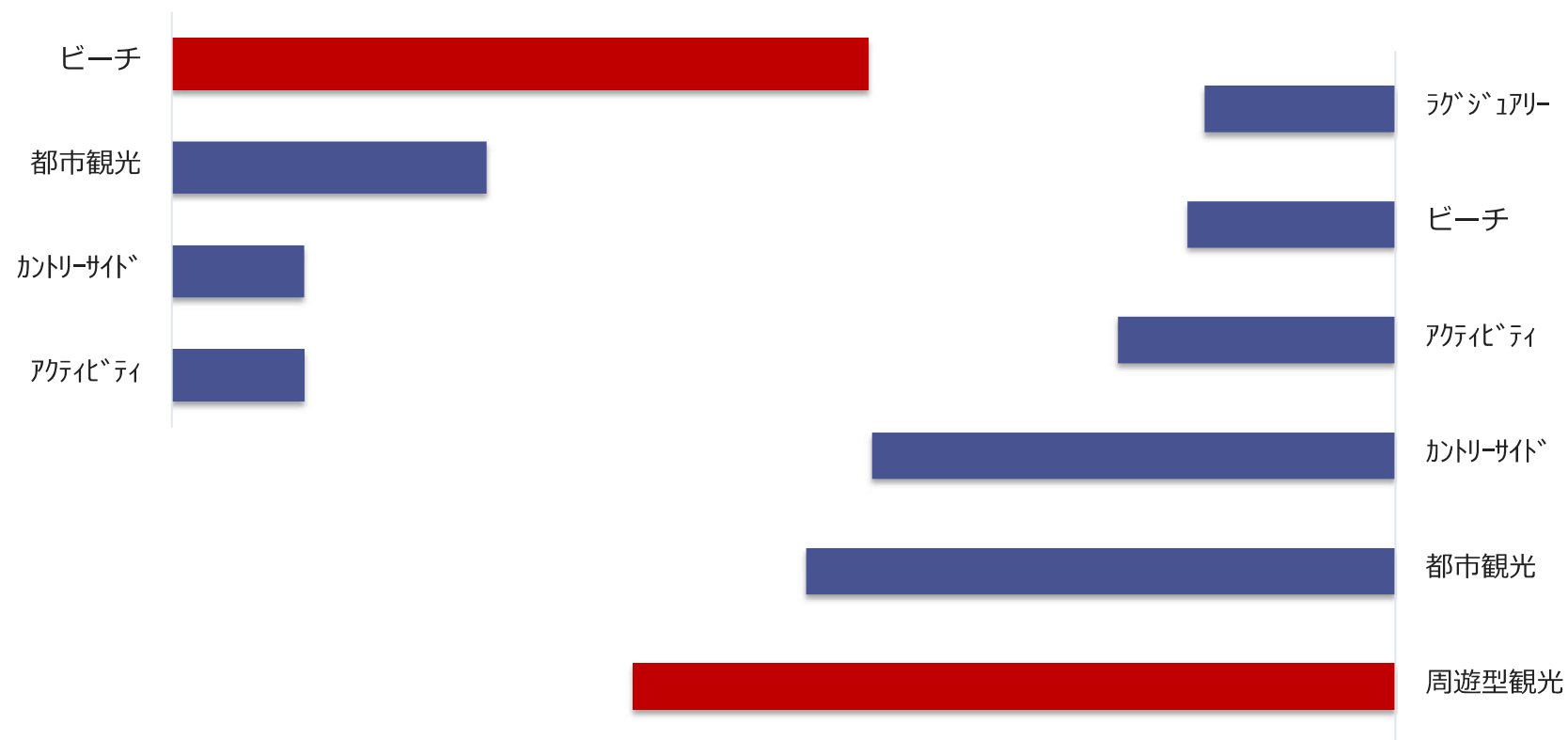


ロングホール



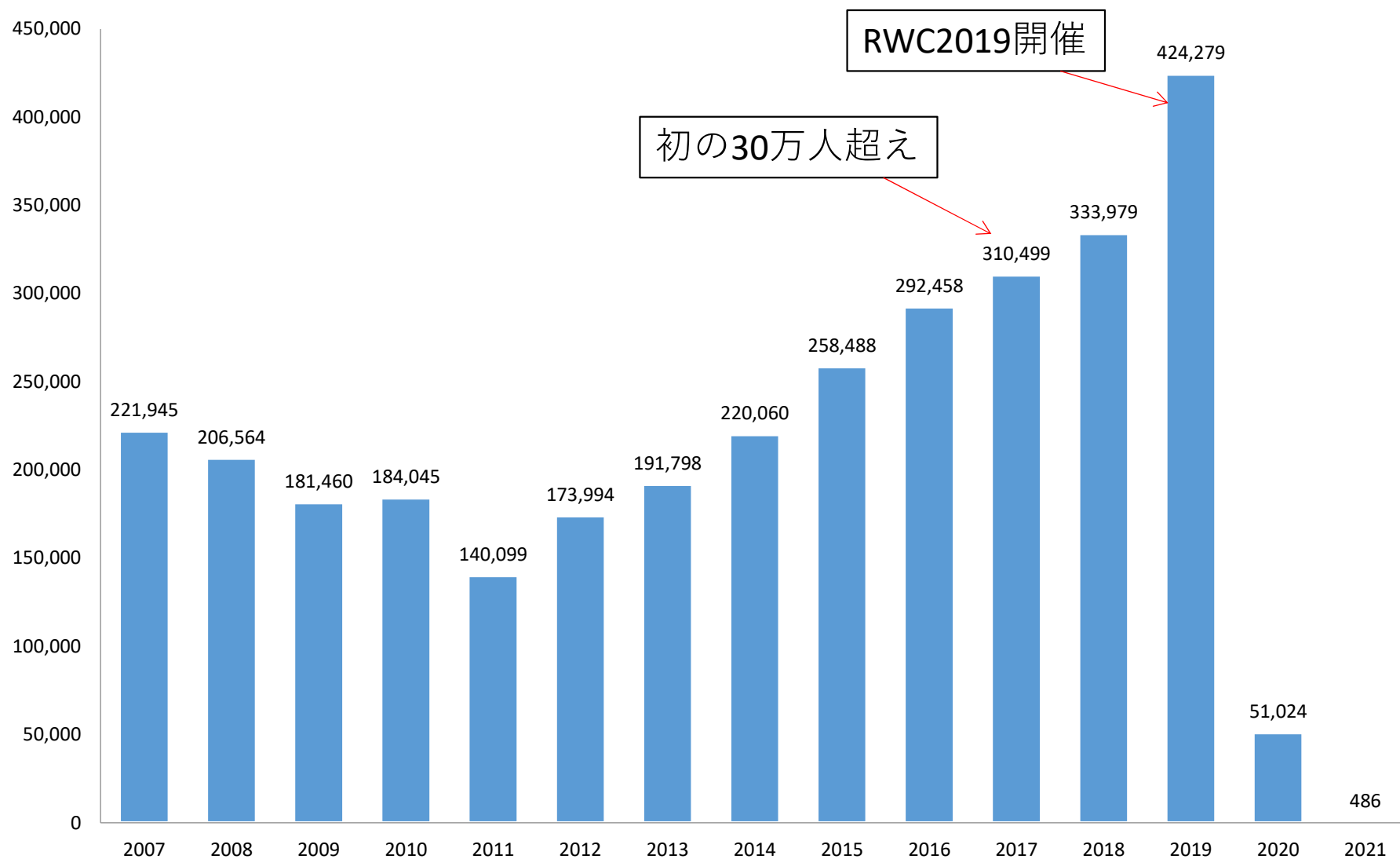
3. 英国概況：旅行タイプ

旅行タイプ：海外全体vs長距離

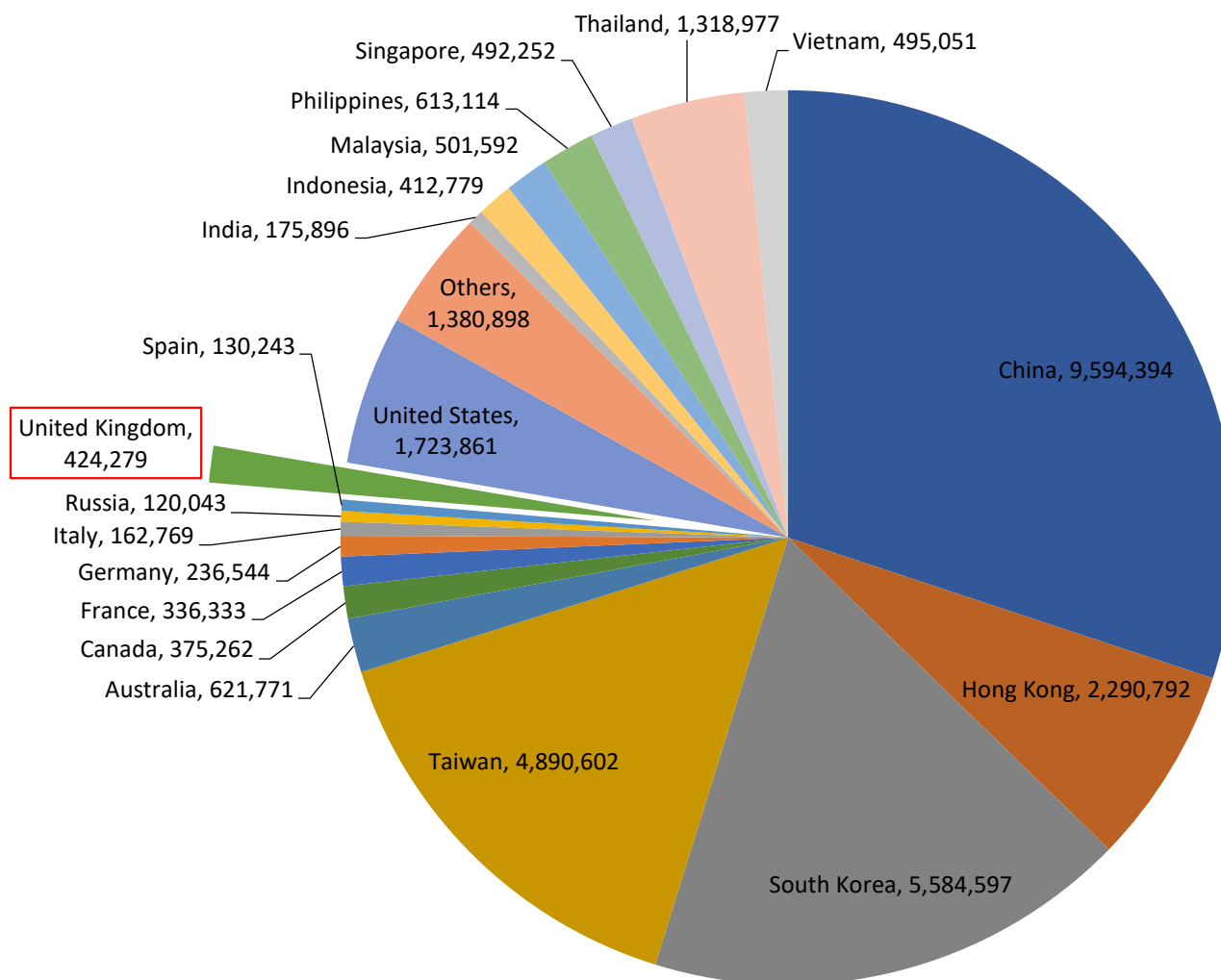


出典：Travelweekly2020/ InsideJapan Tours2020

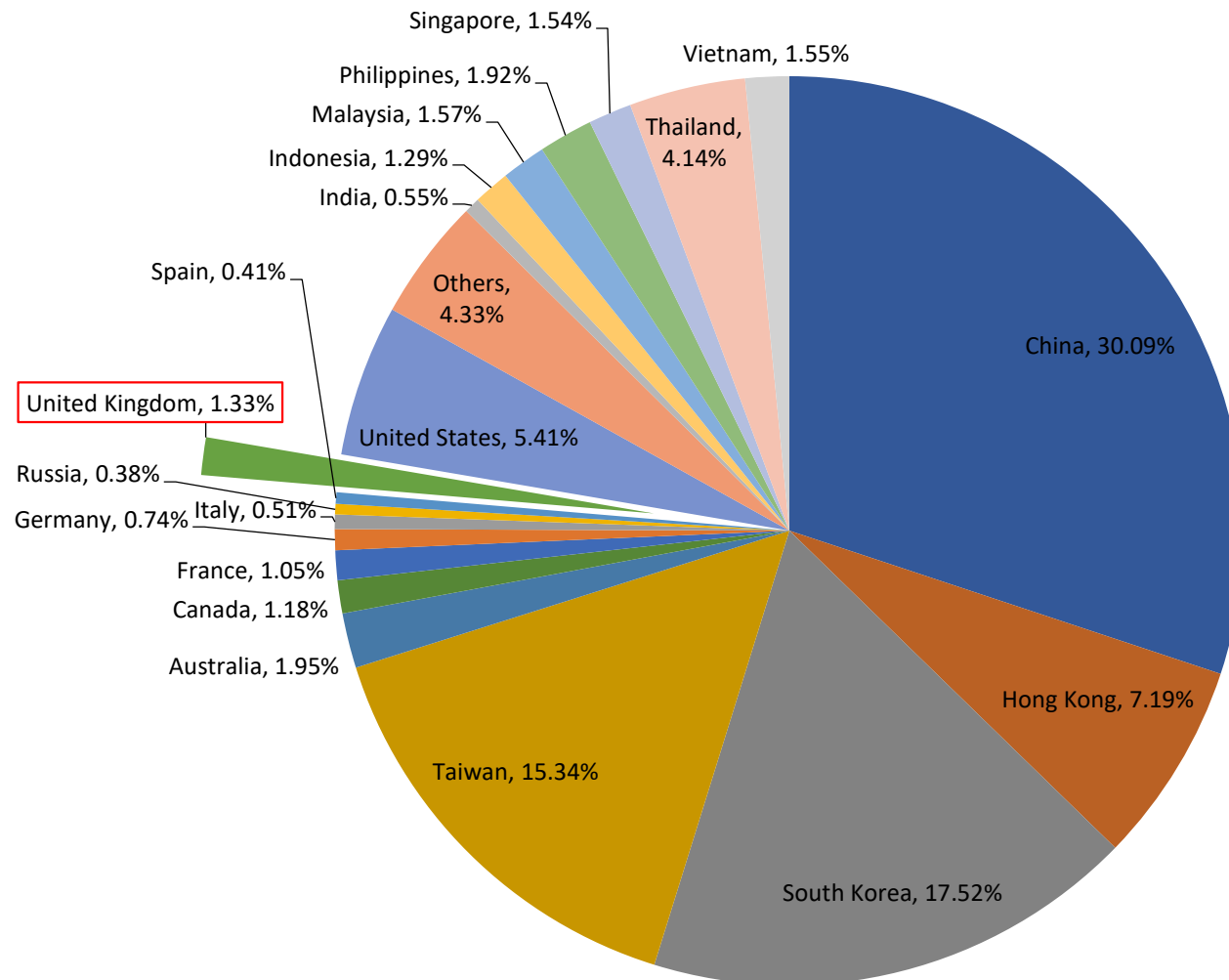
3. 英国概況：英国からの訪日客数の推移



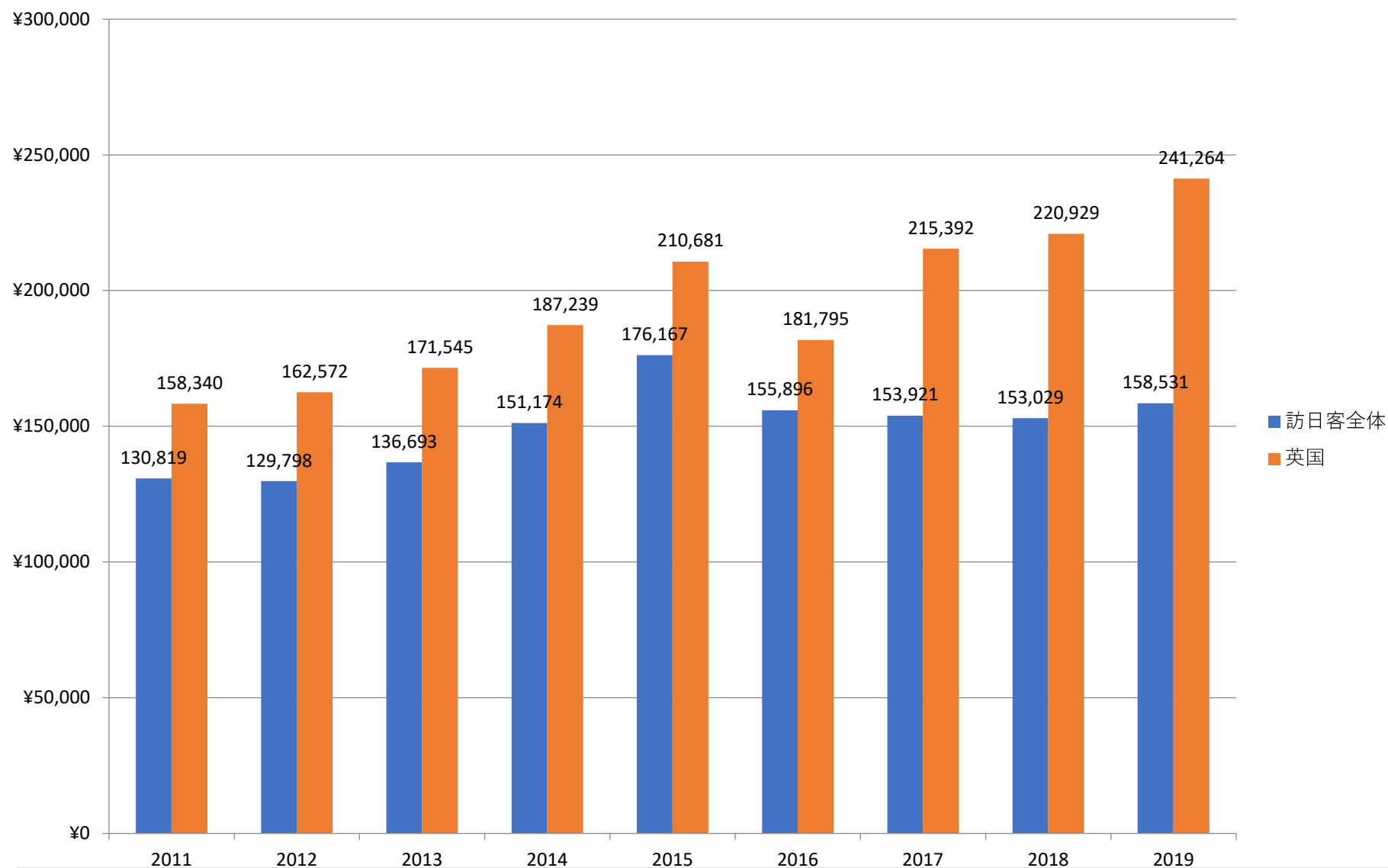
3. 英国概況：2019年各国地域別訪日数



3. 英国概況：2019年各国地域別訪日数



3. 英国概況：訪日外国人旅行者1人当たりの旅行支出額の推移



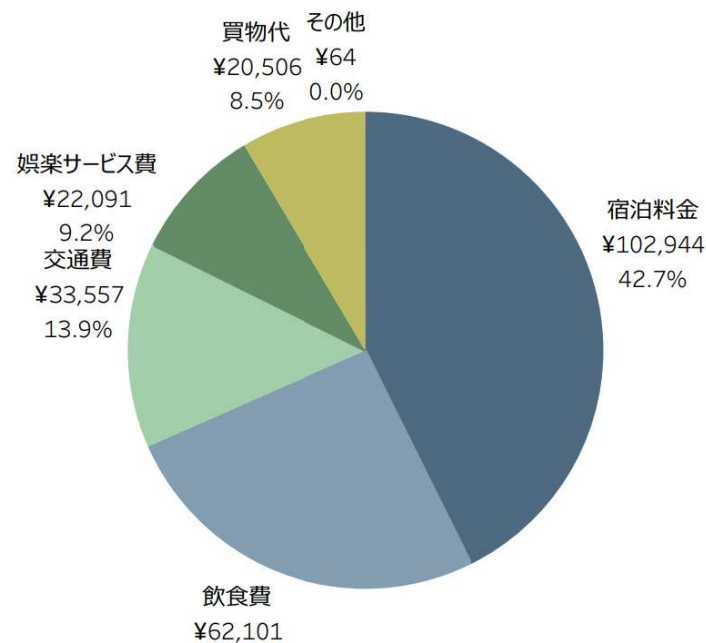
3. 英国概況： 訪日旅行費目別の1人当たりの旅行消費額



日本政府観光局

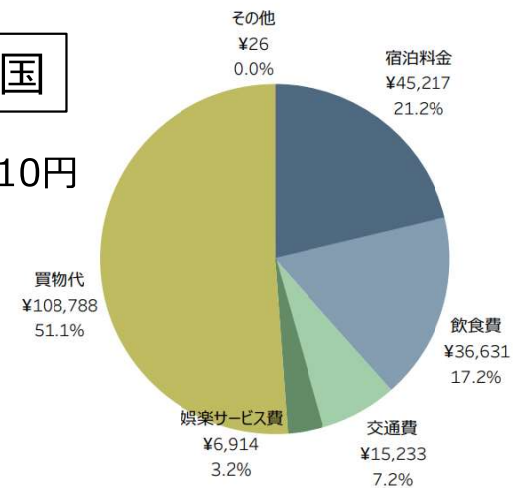
英国

一人当たりの旅行支出：241,264円



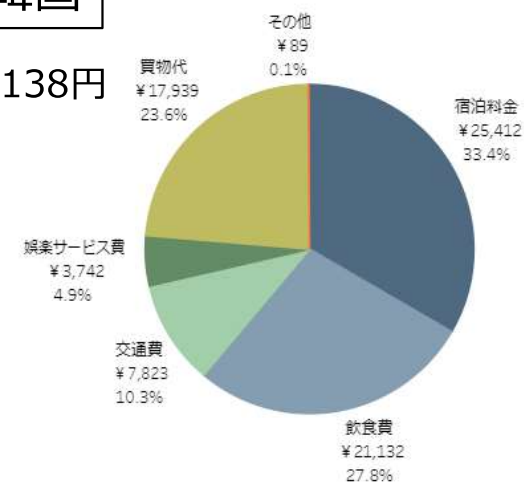
中国

212,810円



韓国

76,138円



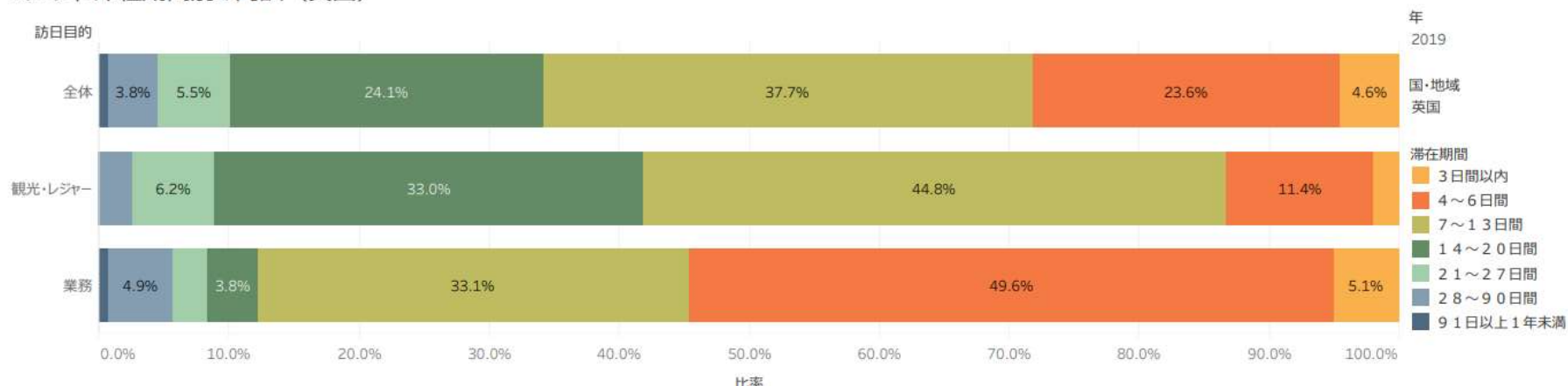
- ◆日本を出国する訪日外国人（1年以上の滞在者、日本での居住者、日本に入国しないトランジット客、乗員を除く）を対象に行った聞き取り調査である。
- ◆それぞれの調査年で、国籍や訪日目的ごとの標本数が異なるため、比較においては注意が必要である。
- ◆値はすべて確報値である。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

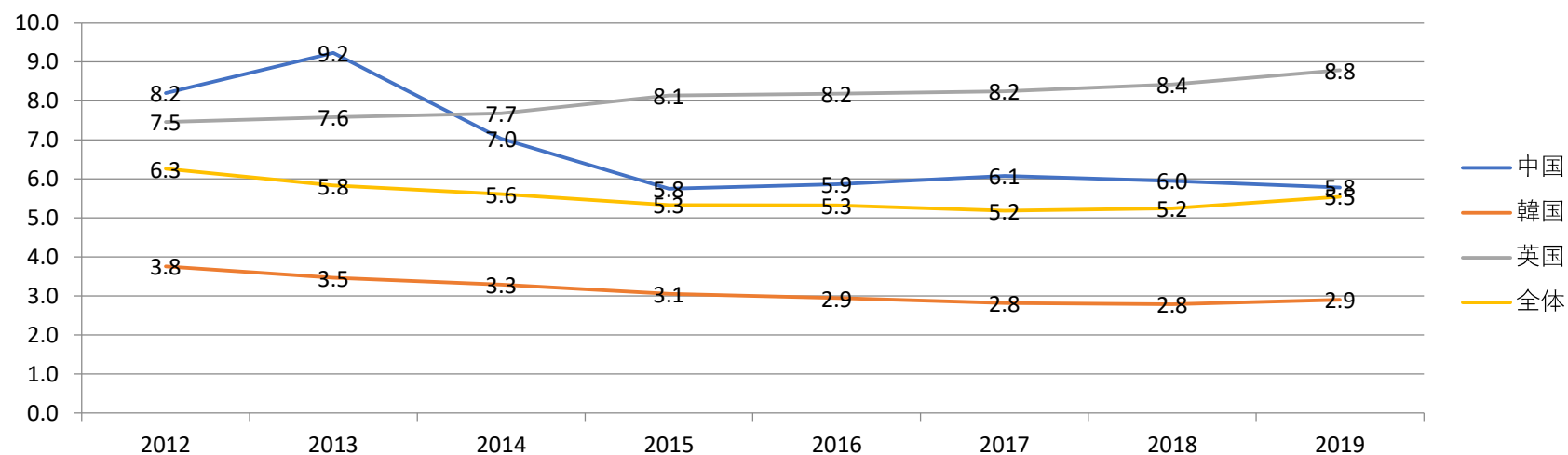
3. 英国概況：訪日滞在日数

©日本政府観光局（JNTO）

2019年 滞在期間別の内訳（英国）



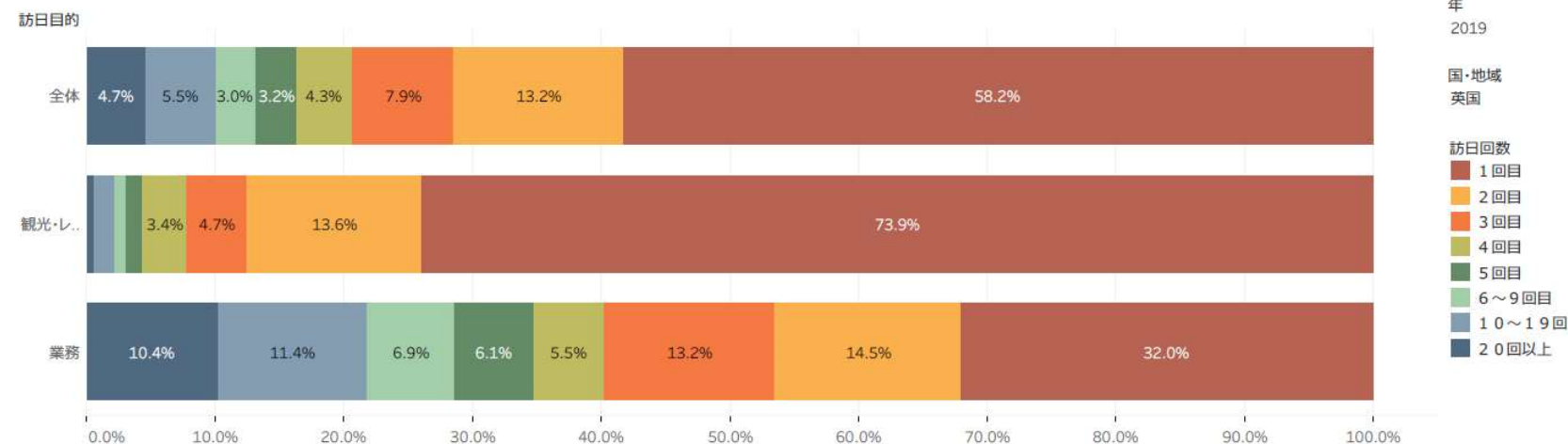
年別 平均滞在日数の推移



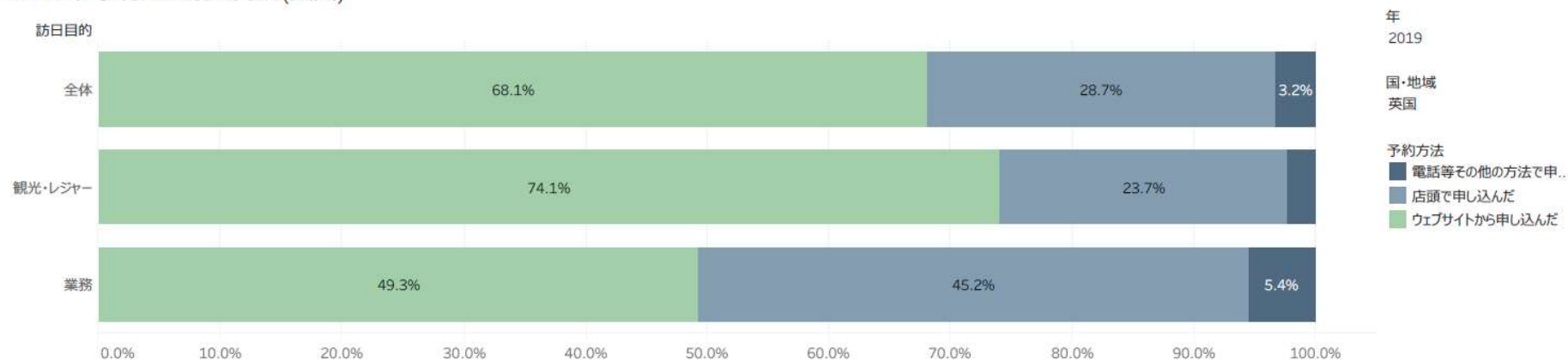
3. 英国概況：訪日経験と予約方法

©日本政府観光局（JNTO）

年 訪日回数別の内訳（英国）

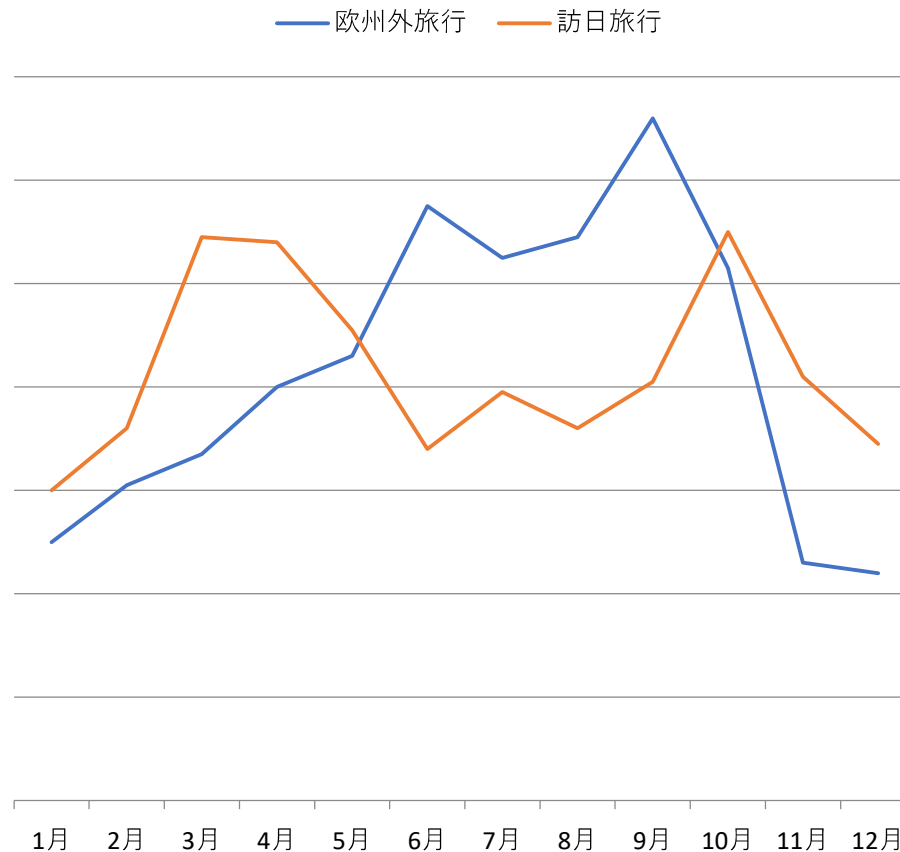


2019年 予約方法別の内訳(英国)



3. 英国概況：旅行シーズンと主な訪問都市

桜、紅葉シーズンが訪日旅行のピークシーズン、訪問先はゴールデンルート+α



英国からの主な訪問都市

1	東京
2	千葉
3	京都
4	大阪
5	神奈川
6	広島
7	奈良
8	兵庫
9	長野
10	北海道

4. コロナ禍における英国からの海外旅行

UNWTOによる海外旅行回復時期の見通し

UNWTO観光専門家委員に対して海外旅行の再開・過去水準までの回復時期を調査（2021年1月実施）

- 海外旅行の再開時期
⇒半数が2022年になると回答
- 海外旅行のコロナ前水準までの回復時期
⇒完全回復までには、2年半～4年を要すると回答

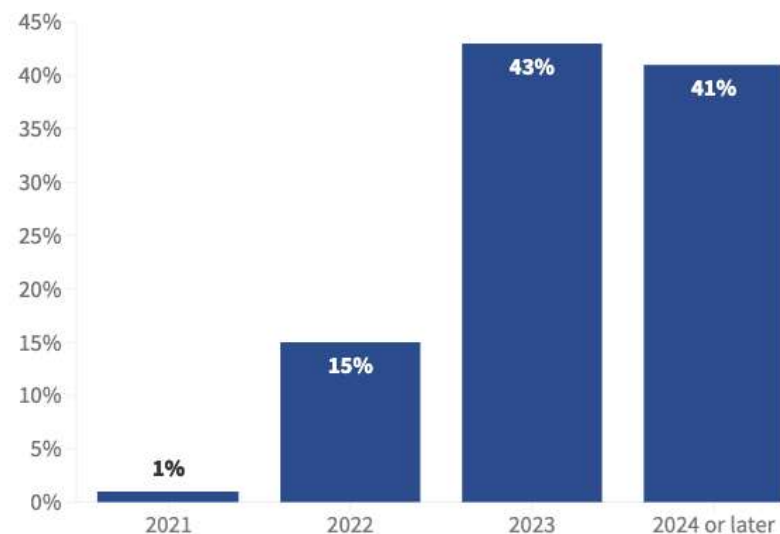
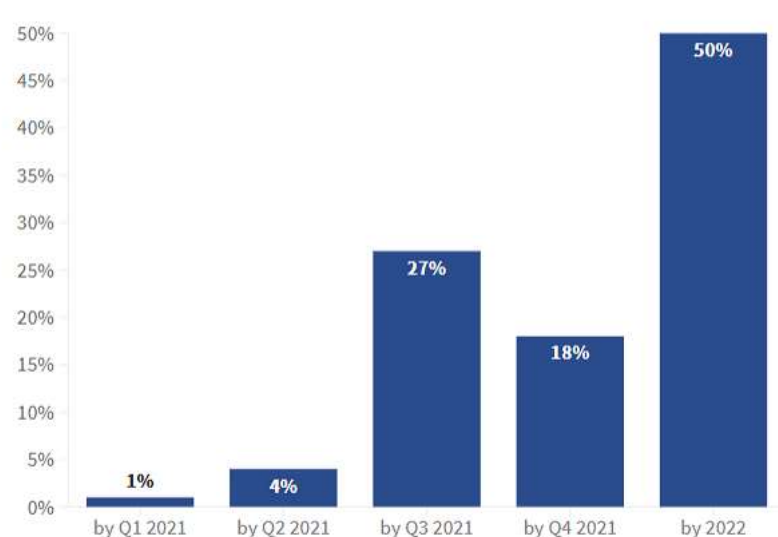


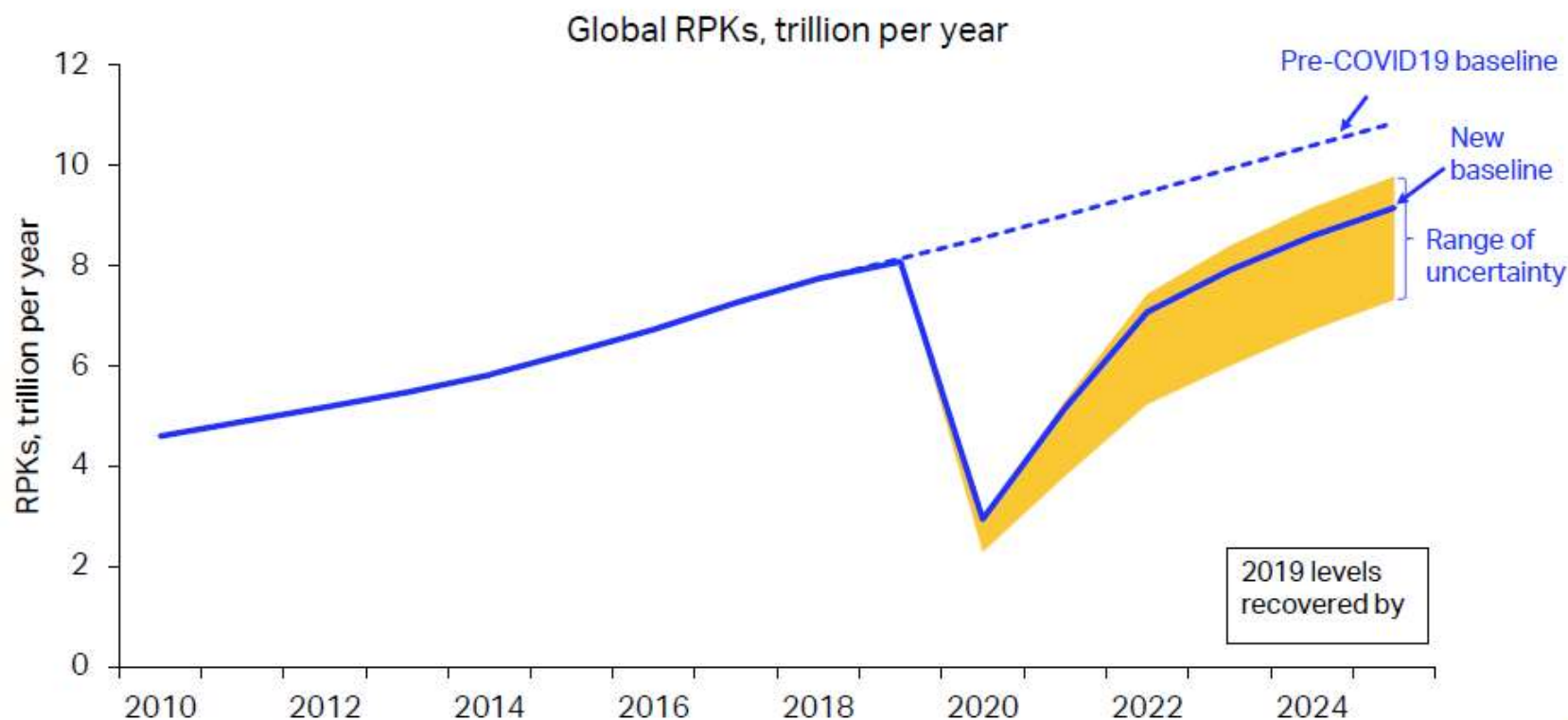
図1 海外旅行の再開時期予想（世界平均）

出典：UNWTO公式サイト(<https://www.unwto.org/news/2020-worst-year-in-tourism-history-with-1-billion-fewer-international-arrivals>)

4. コロナ禍における英国からの海外旅行

IATAによる国際線回復の見通し

IATA（国際航空運送協会）の予測によると、2019年と同水準まで回復するのは2024年以降

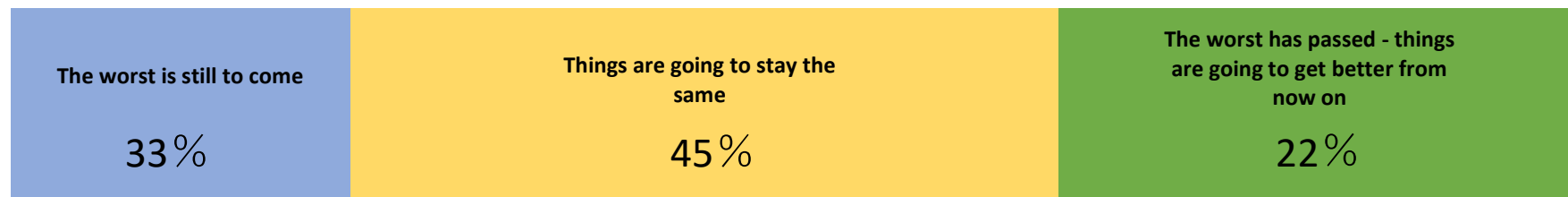


出典：IATA Report “COVID-19 June data and revised air travel outlook”

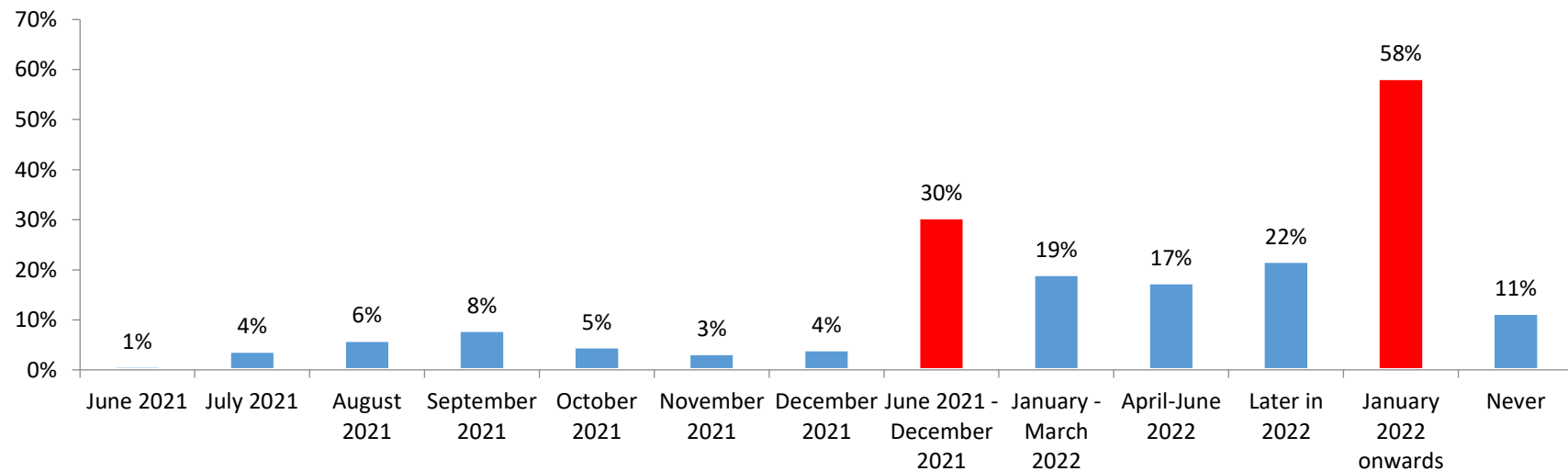
4. コロナ禍における英国からの海外旅行：英国消費者マインド

コロナ禍最悪を脱したと考えているのは全体の22%、日常が戻ってくるのは2022年以降と考えているのが過半数

Perception of the situation with regards to COVID-19



Perceptions of when things will 'return close to normal'



4. コロナ禍における英国からの海外旅行：英国消費者マインド

年内の海外旅行は例年と比べ減少傾向。一方で国内旅行は同じ、もしくは増えると答えた回答が多い。

Figure 10a. Number of U.K. overnight trips between now and the end of the year compared to normal, Percentage Wave 34, UK

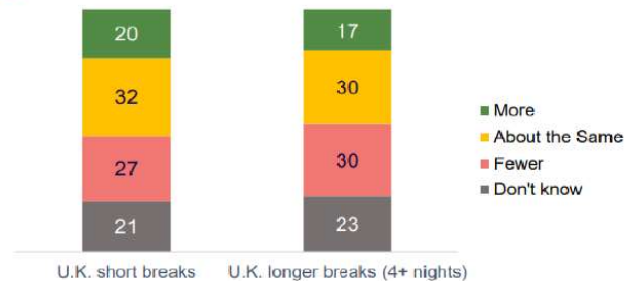


Figure 10b. Number of OVERSEAS overnight trips between now and the end of the year compared to normal, Percentage Wave 34, UK

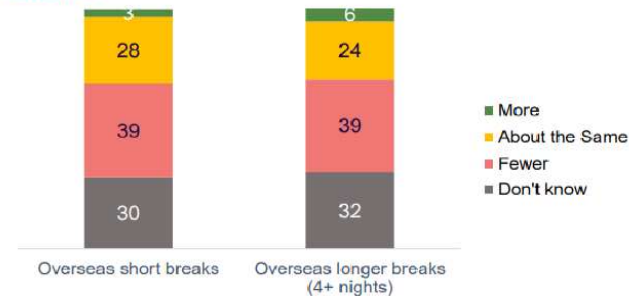


Figure 1. Proportion anticipating each type of trip in 2021, Percentage, Wave 33, U.K.

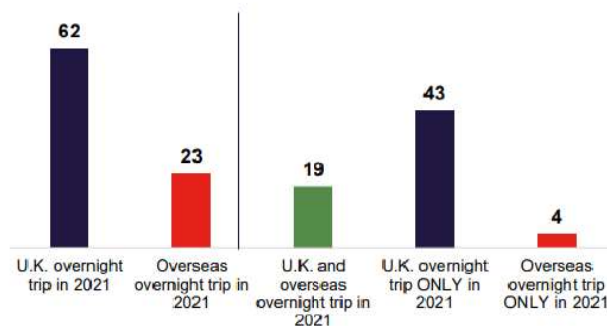
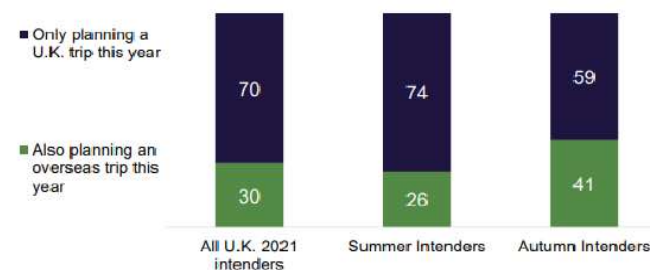


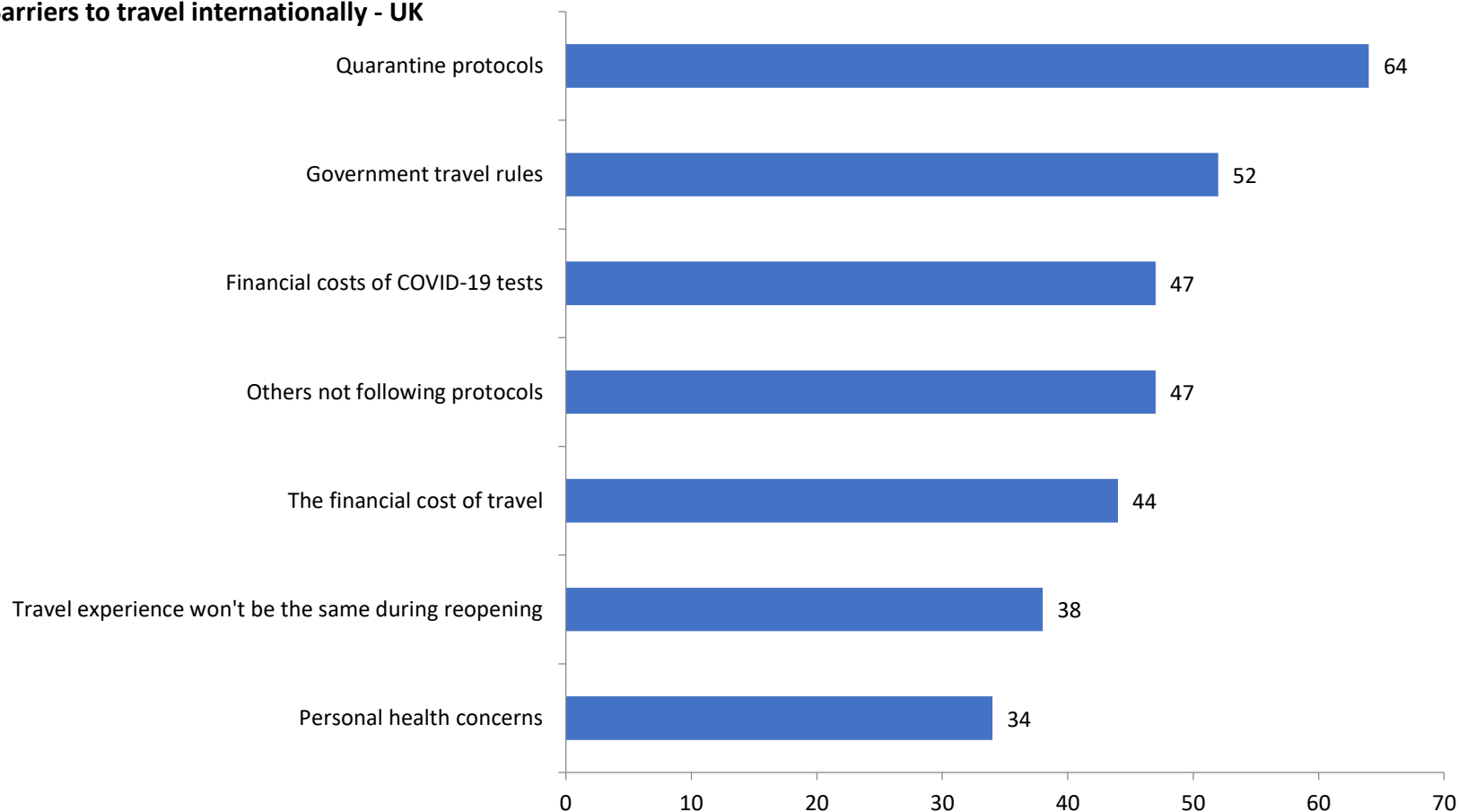
Figure 2. Breakdown of U.K. intenders by UK and overseas trip intention, percentage Wave 33, U.K.



4. コロナ禍における英国からの海外旅行：海外旅行の阻害要因

海外旅行の阻害要因として出入国時の隔離措置、もしくは政府による渡航規制を要因にあげる声が多い。

Barriers to travel internationally - UK



4. コロナ禍における英国からの海外旅行：人気の渡航先

ABTA（英国旅行業組合）

1	スペイン
2	フランス
3	USA
4	イタリア
5	ギリシャ
6	ポルトガル
7	ドイツ
8	クロアチア
9	オランダ
10	オーストラリア

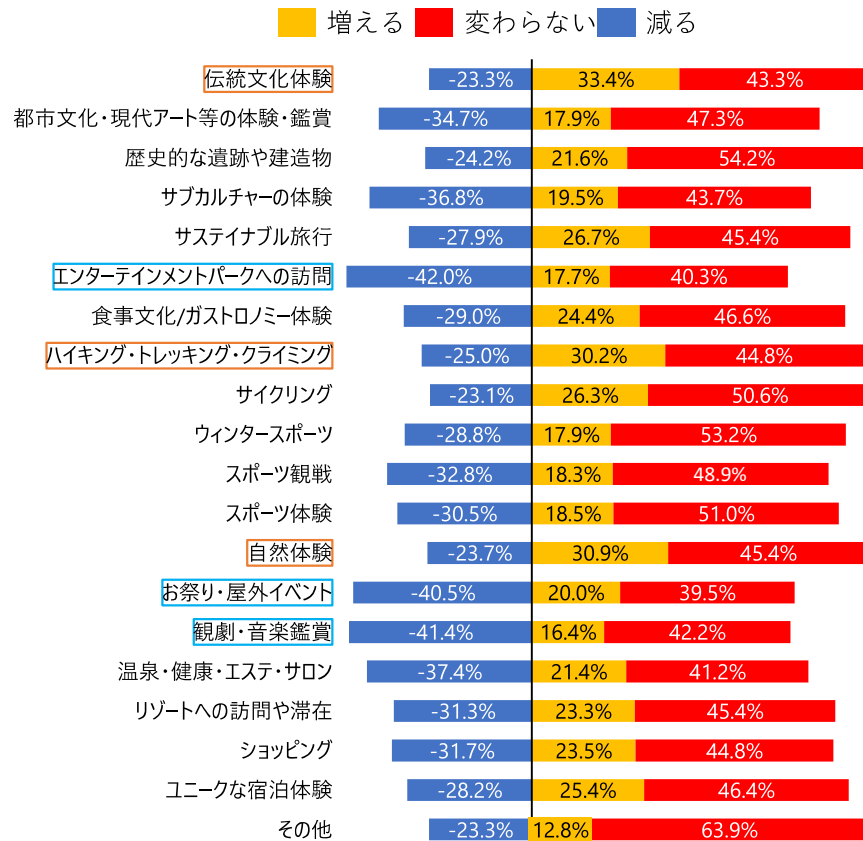
YouGov

1	スペイン
2	イタリア
3	ギリシア
4	ポルトガル
5	フランス
6	アイルランド
7	USA
8	ドイツ
9	カナダ
10	アイスランド

 ：ロングホールデスティネーション

4. コロナ禍における英国からの海外旅行：旅行トレンド

Q.次に挙げるアクティビティについて、あなたが旅行先（ビジネス目的の旅行は除く）で行う頻度は以前と比較して変わると
 思いますか。A.増える、B.減る、C.以前と変わらない、の3つ
 の中から選んで下さい。[SA]



n=524

ショートホール セルフドライブ
 カントリー
 混雑回避 柔軟なキャンセルポリシー
 ソーシャルディスタンス
 アウトドアアドベンチャー
 ワイルドライフ 列車旅行
 サステイナビリティ

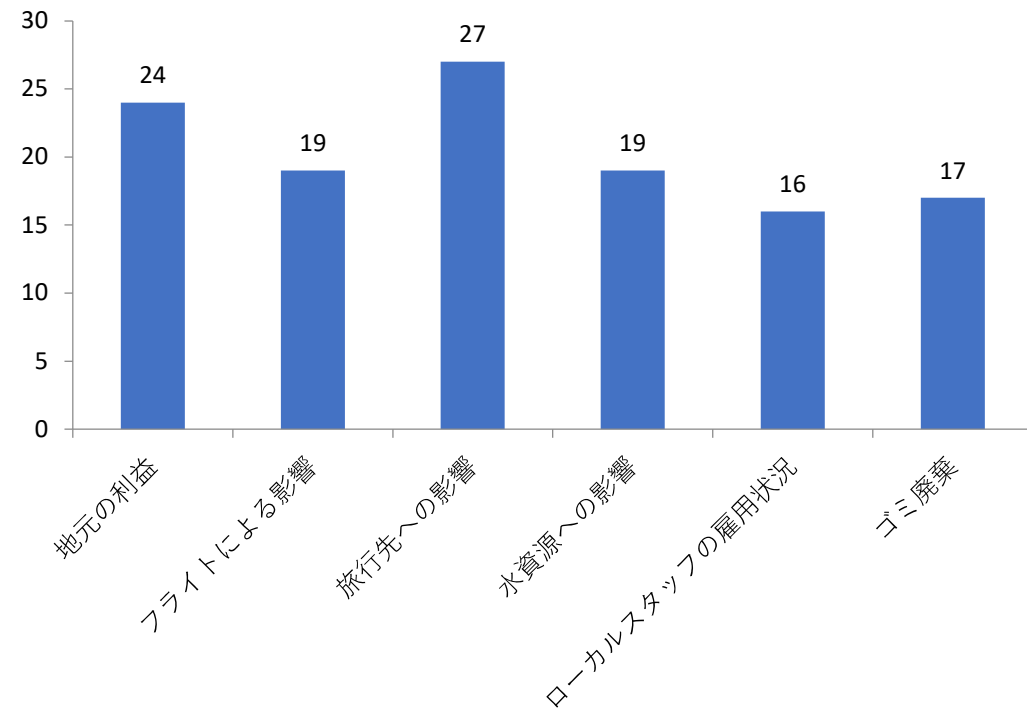
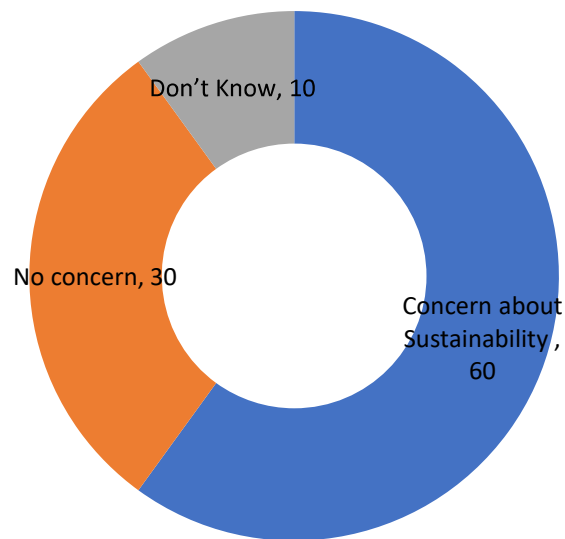
出典：JNTO

4. コロナ禍における英国からの海外旅行：サステナビリティ



日本政府観光局

英国旅行者の60%がSustainabilityを考慮していると回答。旅行先への利益の還元や影響を気にしている。



JNTO が考える持続可能な観光 (サステナブル・ツーリズム)

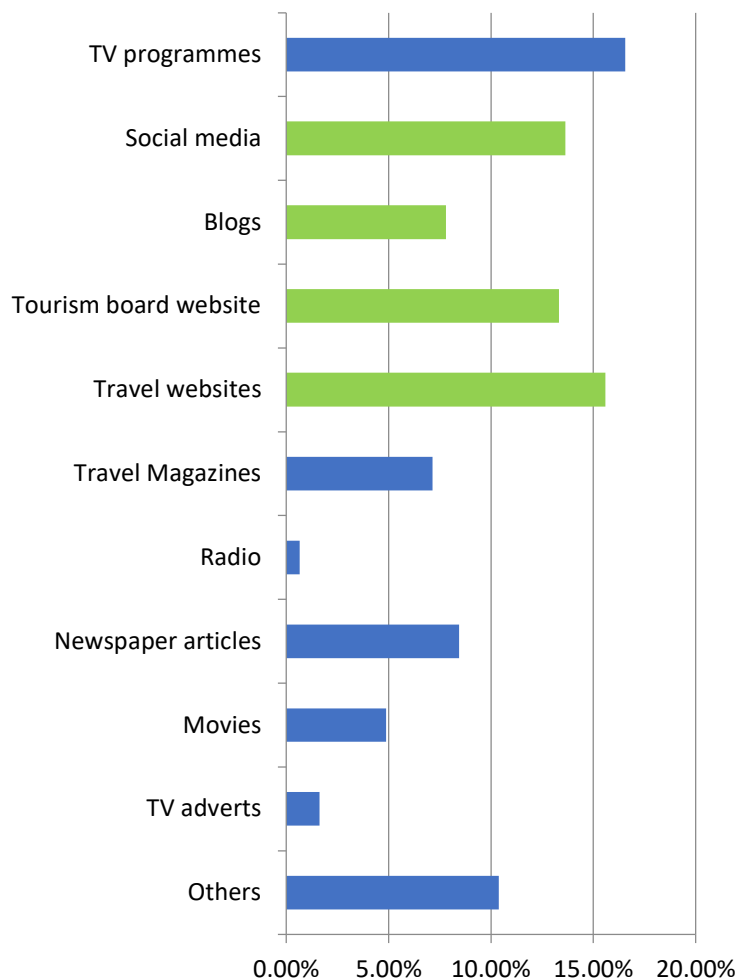
1. 地域の「環境」を守る・育む 環境負荷に配慮した観光コンテンツなど環境資源を最適な形で観光に活用している事例を情報発信し、自然や生物多様性の保全等に貢献します。
2. 地域の「文化」を守る・育む 日本が古来育んできた地域の有形無形の伝統・文化資産等を魅力ある形で海外に発信し、外国人旅行者による体験等を通じて、その保存・継承に貢献します。
3. 地域の「経済」を守る・育む 特定の地域や時期に偏ることなく日本全国各地への外国人旅行者の安定した誘客・滞在を目指すとともに、地域ならではの体験や特産品等の購入を促進することで、地域経済の活性化と安定的且つ長期的な雇用を創出し、住んで良し・訪れて良しの地域づくりに貢献します。

JNTO が考える持続可能な観光コンテンツの事例

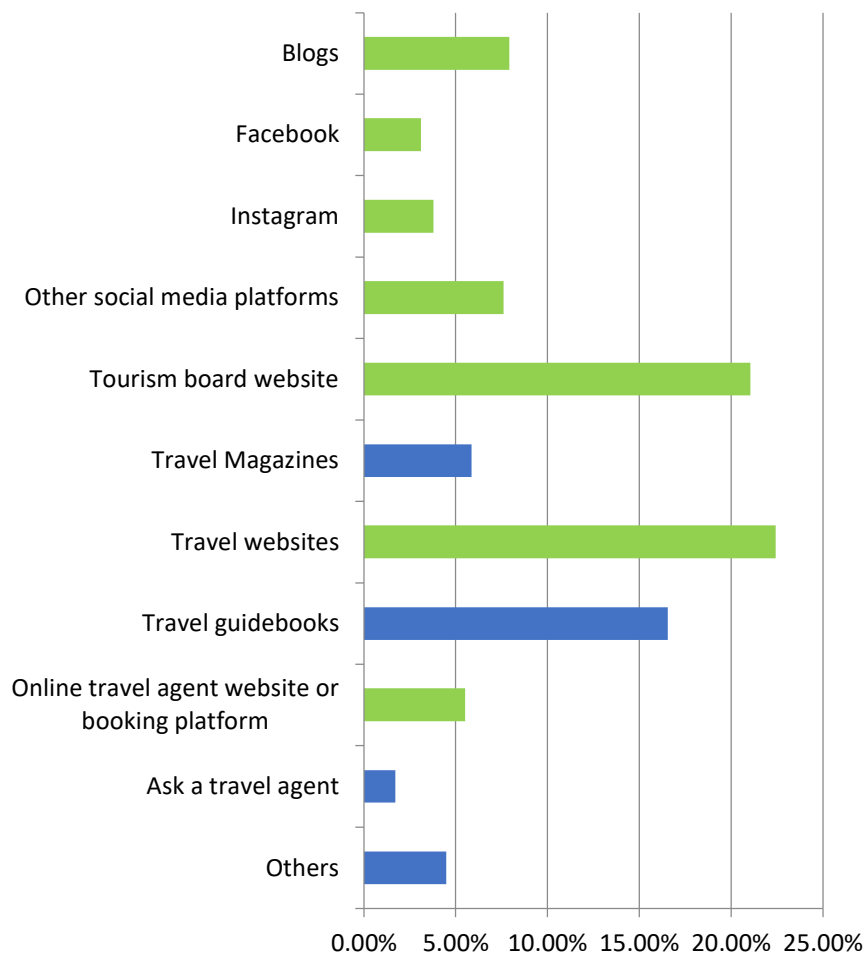
- 環境負荷の少ない自然共生型のアウトドアアクティビティや観光・宿泊施設
- 生態系の保護に資する旅行者参加型の旅行商品
- 古くからその地で育くまれてきた地域の有形無形の伝統・文化資産・地元ならではの食文化体験や地産地消の料理の提供
- 料理体験・旅行者による体験や購入が継承につながる伝統工芸・古民家等地域の有形文化資産を利活用した宿泊施設や商業施設
- （旅行者の参加により存続する）地元の祭りや行事等への参加型旅行商品
- 旅行先の地元の人の暮らしぶりの体験
- ガイドを利用し旅行先の文化等の理解を深める体験・収益の一部が地元寄付される旅行商品 等

4. コロナ禍における英国からの海外旅行：情報収集

Q.旅行のインスピレーションを受ける媒体（複数選択）



Q.旅行先を決めたあと、詳細な情報を得るための媒体(複数選択)

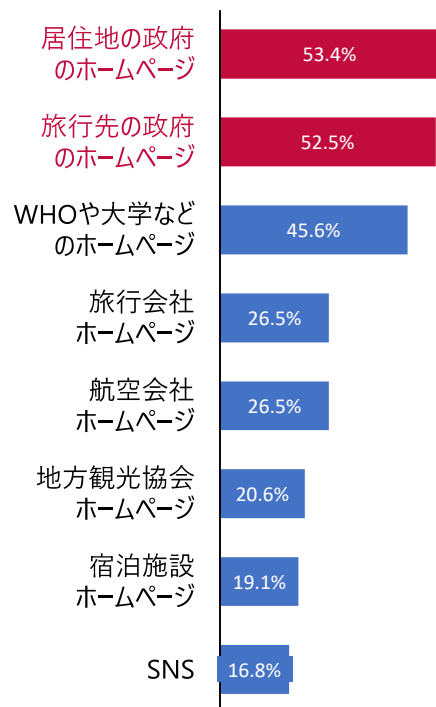


4. コロナ禍における英国からの海外旅行：情報収集

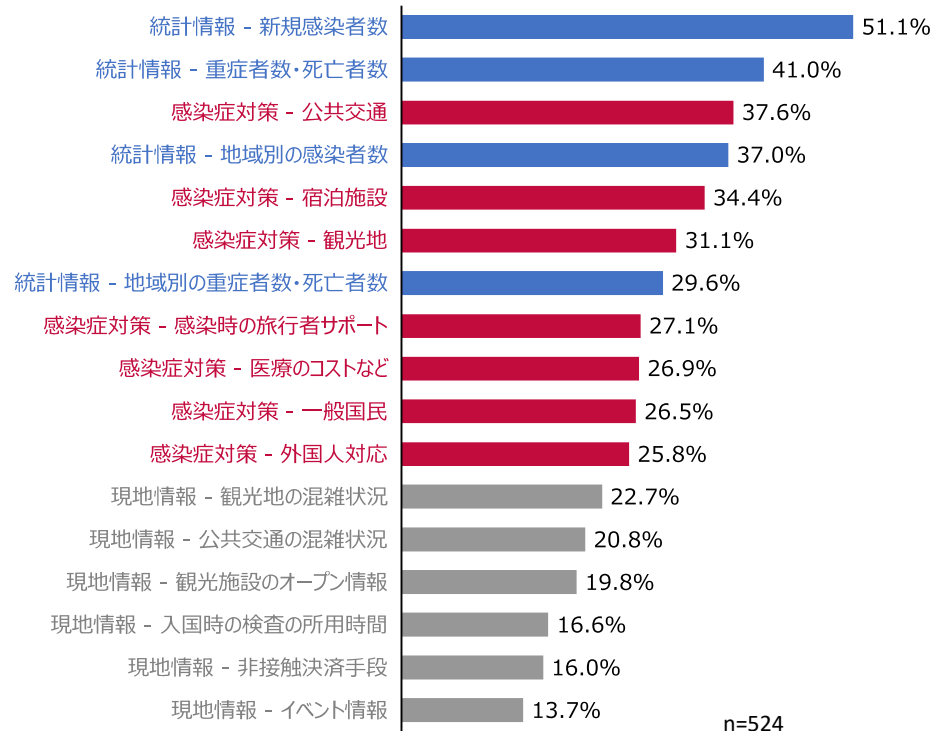
Q. 旅行先の状況について調べる時、あなたは次のどの情報源を利用すると思いますか。当てはまる選択肢を全て選んでください。[MA]

Q. 今後、感染がある程度収まり、マスクの着用やソーシャルディスタンスが求められる中で海外旅行に行けるようになった時、あなたは旅行先の状況についてどのようなことに注意を払いますか。当てはまる選択肢を全て選んでください。[MA]

英国



英国



5. 英国からの訪日の現状

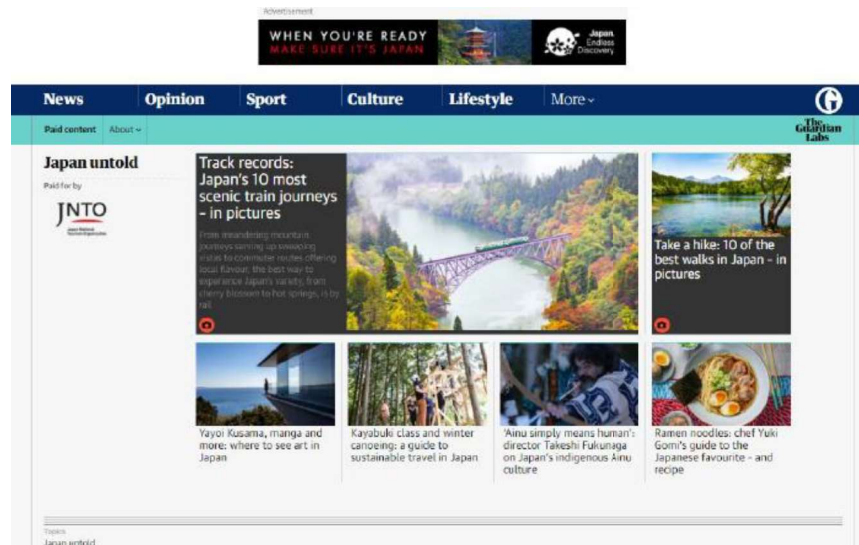
Wanderlust Travel in a Covid-19 world: Reader Survey

アウトドアやアドベンチャーを中心にした英国旅行主要紙Wanderlustが2020年11月に実施した読者調査において日本が読者の訪問したい国ランキングで1位を獲得

Lonely Planet Best in Travel 2021

トラベルガイド最大手Lonely PlanetのBest in Travel 2021: Readers Choice Awardsにおいて、新設されたSustainability部門を和歌山県が受賞

5. 英国からの訪日の現状



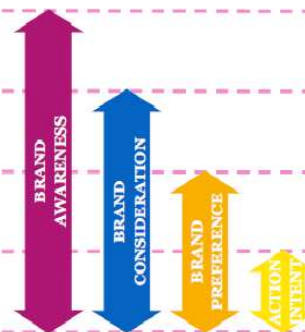
英国大手新聞社The Guardian

- 記事広告、バナー広告を実施
- 記事接触者、広告接触者を対象に日本の観光地としての印象を聞くアンケートを実施

Awareness	95 %	88 %
Consideration	94 %	75 %
Preference	85 %	65 %
Action Intent	54 %	18 %

How do you feel about Japan as a holiday destination?

- ☐ Not familiar and not interested in visiting
- ☐ Familiar but not interested in visiting
- ☐ Keen to learn more about Japan tourism
- ☐ I feel positively about holidaying in Japan one day
- ☐ I actively plan to take a holiday in Japan when I next travel

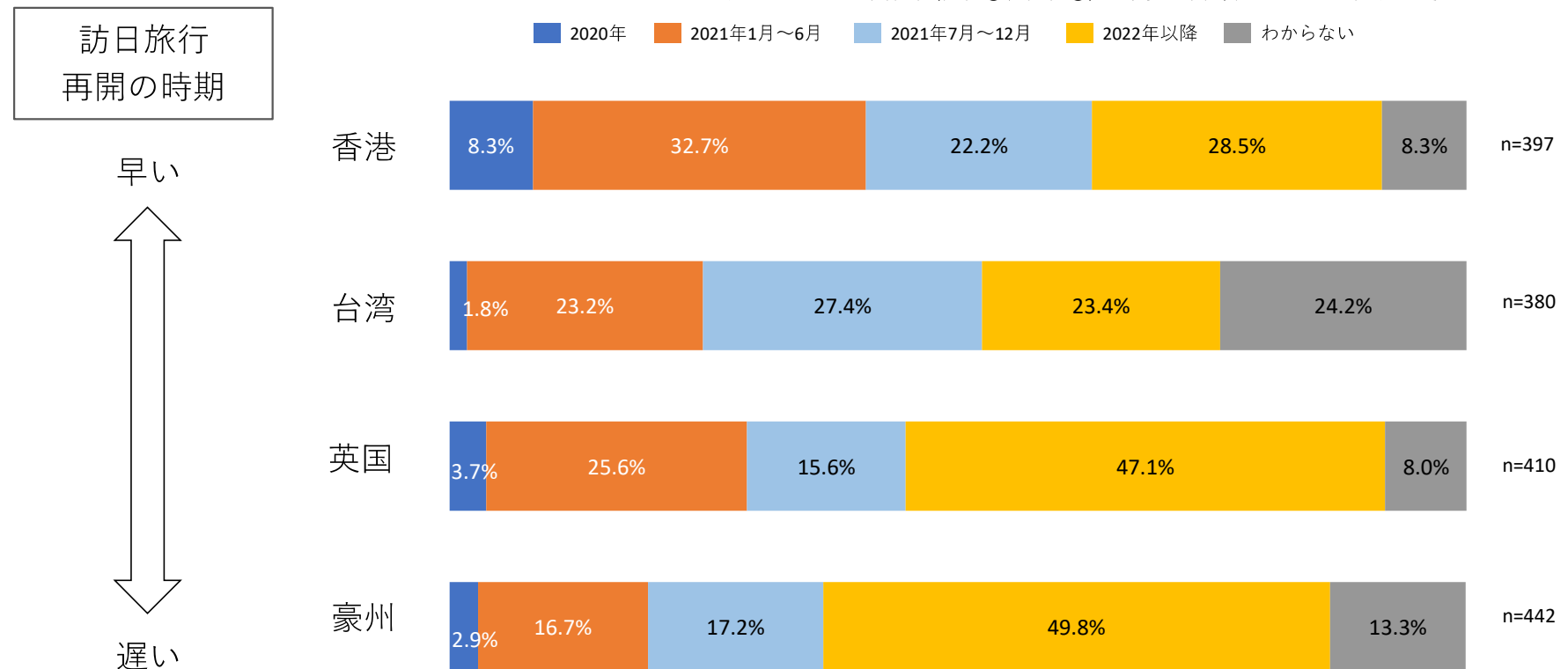


5. 英国からの訪日の現状：訪日検討時期の比較①

訪日旅行の再開に関しては、ショートホールがロングホールより早いとみられ、英国においては2022年の訪日検討層が最多。

F8.次に訪日旅行（ビジネス目的の旅行を含む）をする時期、または、次に訪日旅行をしたいと考えている時期は直近でいつ頃になると思いますか。[SA]

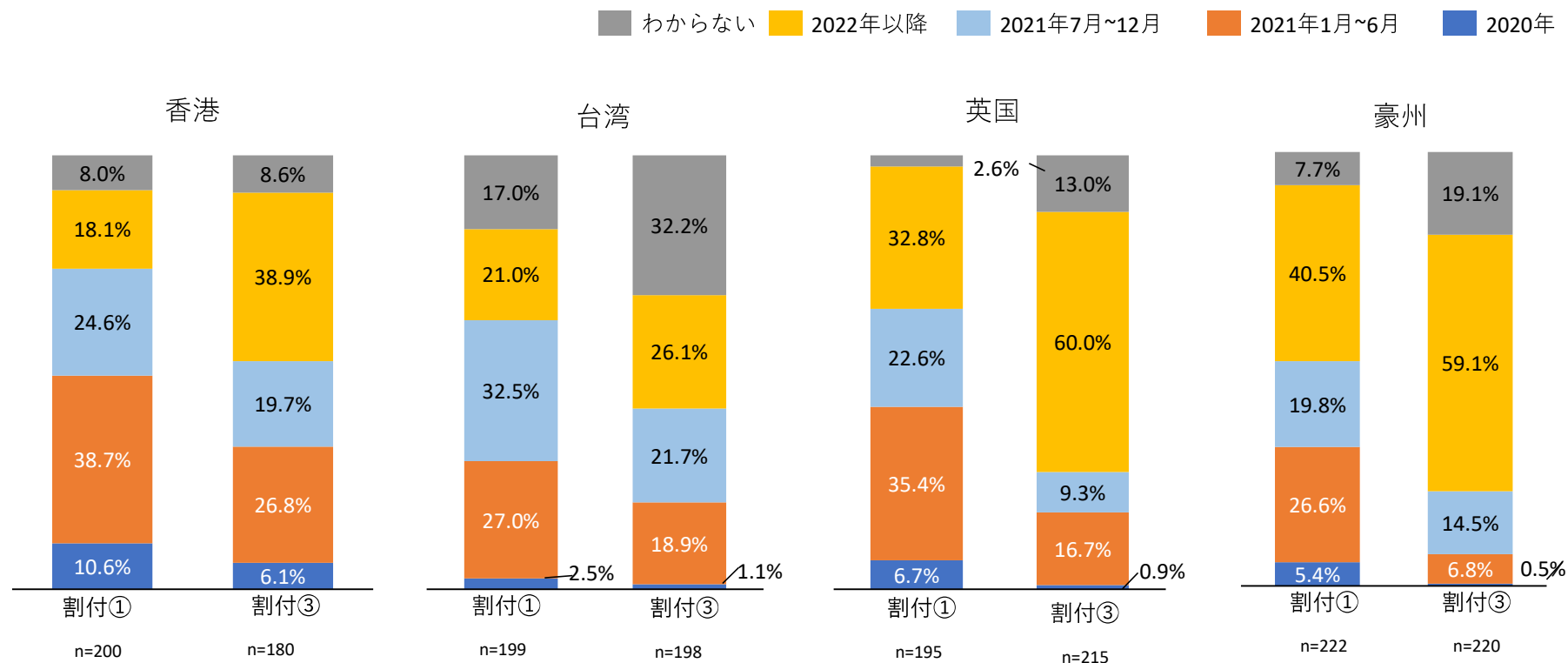
訪日意向のある回答者(割付①、割付③)を対象に集計/調査は2020年8月下旬に実施



5. 英国からの訪日の現状：訪日検討時期の比較②

英国において3年以内の訪日経験がある層は比較的早期に訪日を検討すると回答。一方で3年以内に訪日経験のない層は2022年以降の回答が多数。

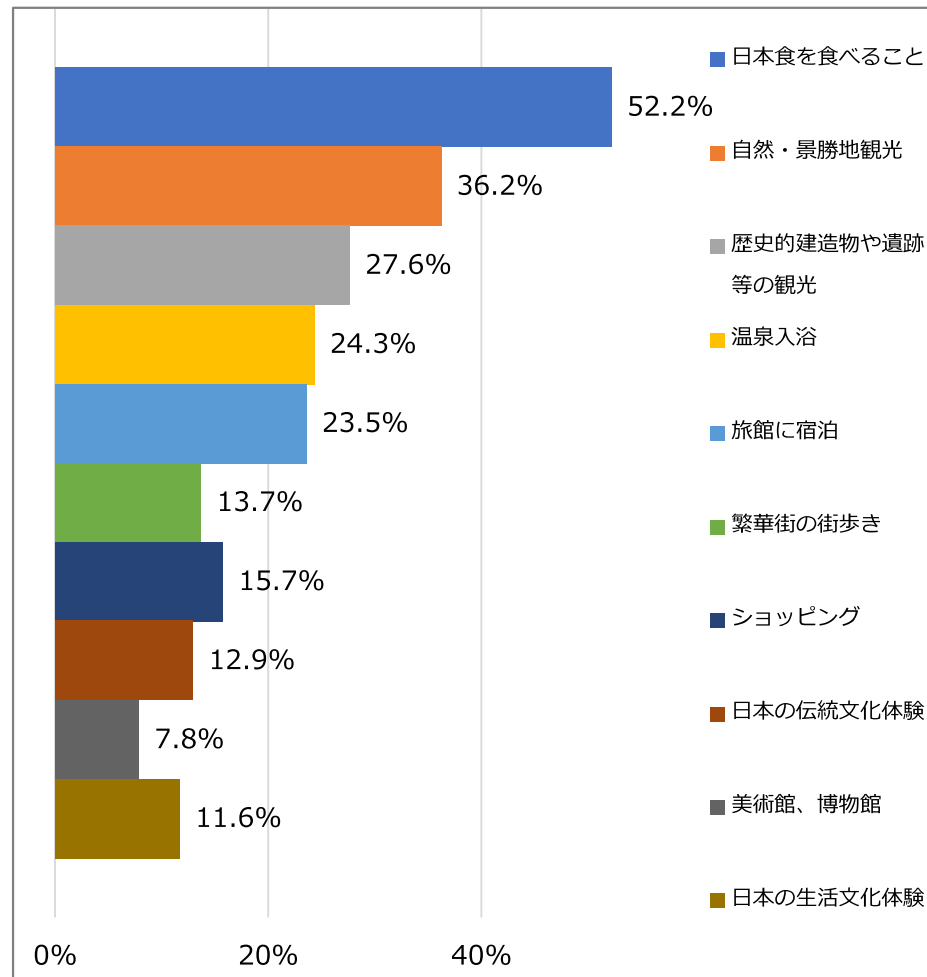
F8.次に訪日旅行（ビジネス目的の旅行を含む）をする時期、または、次に訪日旅行をしたいと考えている時期は直近でいつ頃になると思いますか。[SA]



割付①：過去3年以内の訪日経験あり×今後3年以内の訪日意向あり ③過去3年以内の訪日経験なし×今後3年以内の訪日意向あり

5. 英国からの訪日の現状：訪日訴求コンテンツ

訪日観光旅行で体験したいこと



※JNTO調べ（2018）

- コロナ前は日本食、伝統文化、豊かな自然、都市観光が人気
- コロナ禍でのアンケート結果でも似たような傾向が得られている
- 日本への渡航制限解除後を見すえ、元々の訪日で期待していることをベースに、コロナ禍の旅行トレンドを意識したコンテンツの発信が必要。

6. 英国市場におけるロンドン事務所の取り組み

既存顧客のリテンション

- Hope Lights the way キャンペーン
- SNS・ニュースレター等でのファンへの情報発信
- 旅行会社とのネットワーク維持



日本のプレゼンス維持

- Japan at homeコンテンツの提供
- 旅行会社への研修・商談会開催



訪日旅行への不安払拭

- 在日外国人からの情報発信Postcards from Japan
- ホテルやレストラン、交通等の衛生安全対策紹介

将来の訪日に向けたインスピレーション

- British Film Institute x 映画
- The Guardian x サステナビリティ
- The National Geographic Traveller x 東北

英国海外旅行 トレンド

+

受入再開準備

- 2回ワクチン接種後は自主隔離なく旅行できる海外旅行先大幅増

※実際に旅行可能かは渡航先の入国規制による

- 海外旅行はショートホールからの回復基調ではあるが、Wish listとして日本への関心は高い。

- 日本で体験したいコンテンツはコロナ前と大きな変わりはないが、英国の旅行トレンドを踏まえたアップデートは必要

ご清聴ありがとうございました